

# 環

森・里・海と人の環<sup>わ</sup>  
自由と創造の共生都市  
高知

## 2011高知市総合計画 (2016基本計画改訂版) 概要版



高知市

# 目次 Contents

## 基本構想編

### 序論

第1章 総合計画策定の趣旨	4
第2章 総合計画の構成	4
第3章 高知市の概要	5
第4章 高知市を取り巻く状況	7

### 本論

第1章 高知市のめざすべき方向	8
第2章 将来の都市像	9
第3章 施策の大綱	10
第4章 都市フレーム	12

## 基本計画編

### 総論

第1章 基本計画の趣旨及び構成	14
第2章 推進戦略「維新・創生 高知市」	15
第3章 高知市強靱化計画と高知市まち・ひと・しごと 創生総合戦略を踏まえた施策展開	16
第4章 維新・創生8大エンジン	18

### 各論

施策体系	20
■ 第1章 共生の環	22
■ 第2章 安心の環	23
■ 第3章 育みの環	23
■ 第4章 地産の環	24
■ 第5章 まちの環	24
■ 第6章 自立の環	25
成果指標	26

2011高知市総合計画(2016基本計画改訂版) のしくみ	34
----------------------------------	----

## ごあいさつ

高知市は、2005(平成17)年1月の鏡村・土佐山村、また2008(平成20)年1月の春野町との合併により、中山間地域、田園地域、都市部のバランスのとれた都市となりました。

2011(平成23)年3月には、「2011高知市総合計画」を策定し、同計画において、自由と創造の精神に満ちた新しい共生都市を築くことをめざし、

「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」を将来の都市像として定め、にぎわいに満ちた元氣あふれる高知市を築き上げていくことを目標として取り組んでまいりました。

この間、同計画の策定と同時期に発生し、東北地方に甚大な被害をもたらした東日本大震災や、九州地方に大きな被害を与えた2016(平成28)年4月の熊本地震などを受け、今後30年以内に70%程度の確率で発生が予測されている南海トラフ地震への総合的な対策をより一層推進してまいらなければなりません。

また、高知県は全国に先行して少子高齢化が進行しており、人口減少の加速に歯止めをかけるためには、産業振興、移住・定住、子育て環境の整備などの地方創生への取組を積極的かつ着実に進めていく必要があります。

こうした社会経済情勢の変化、また国の制度改革など本市を取り巻く大きな環境の変化に対応していくため、基本計画の見直しを行い、「2011高知市総合計画(2016基本計画改訂版)」を策定しました。

なお、基本計画の見直しに合わせ、政策・施策を再編するとともに、新たに施策ごとに成果指標を設定し、進捗管理を行う行政運営のしくみを強化しましたので、今後は、PDCAサイクルに基づき、着実かつ継続的な行政評価を行ってまいります。

本計画の最終年度となる2020(平成32)年度に向けて、計画目標として設定した成果指標を達成するためには、行政のみならず、市民の皆様との絆を大切に協働のまちづくりが不可欠となりますので、市民の皆様におかれましては、積極的に市政に参画をしていただきますとともに、さらなる市政発展のためのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、「2011高知市総合計画(2016基本計画改訂版)」の策定にあたりまして、熱心にご審議を賜りました総合計画審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市議会や市民の皆様にご心から感謝申し上げます。

平成28年12月



高知市長

岡崎 誠也

# 基本構想編

## 序論

- 第1章 総合計画策定の趣旨
- 第2章 総合計画の構成
- 第3章 高知市の概要
- 第4章 高知市を取り巻く状況

## 本論

- 第1章 高知市のめざすべき方向
- 第2章 将来の都市像
- 第3章 施策の大綱
- 第4章 都市フレーム



# 基本構想編 序論

## 第1章 総合計画策定の趣旨

### 1 総合計画策定の趣旨

2011(平成23)年3月の「2011 高知市総合計画」の策定後、東日本大震災の発生により、近い将来に発生が予想される南海トラフ地震対策の加速化が喫緊の課題となったことや、人口減少という、わが国がかつて経験したことのない国難とも言える危機的状況から脱却するために、国を挙げて地方創生の推進に向けた取組を進めていく必要が生じるなど、本市を取り巻く社会経済情勢や国の制度には、大きな変化が生じています。

こうしたことを踏まえ、本市を取り巻く大きな環境の変化に対応するために、将来の都市像を実現するための施策等を定めた基本

計画について、内容の点検や、必要な見直しを行い、自主・自立に基づく、真に豊かな市民生活の創造と持続的な発展をめざします。

### 2 総合計画の位置付け

総合計画は、地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本的事項を定める計画であり、高知市においては、地域社会の人々が将来に向けて夢と希望を持てる地域の将来ビジョンを示すとともに、そこに至る道筋を明らかにし、その実現に向けた指針となる最上位計画として位置付けています。

## 第2章 総合計画の構成

### 1 総合計画の構造

#### 1 基本構想

都市発展の方向と将来ビジョンを示す長期的な計画です。都市発展に向けた基本的な方向を明らかにし、めざす都市像を掲げ、それを実現していくための施策の大綱を定めるものであり、各種行政計画・方針等は、本構想に即して策定されます。

#### 2 基本計画

基本構想実現の方策を示す中期的な計画です。基本構想において定めた都市像及び施策の大綱に基づき、それを実現するための施策と重点的な取組を定めます。

#### 3 実施計画

基本計画達成の方策を示す短期的な計画です。基本計画に基づき具体的な事務事業に関して定めるものであり、各単年度における予算編成及び事務事業実施の指針とします。

### 2 総合計画の期間

#### 1 基本構想

2011(平成23)年度から2030(平成42)年度までの20年間とします。

#### 2 基本計画

基本構想の計画期間である2030(平成42)年度までの20年間の中で、10年ごとに策定します。

#### 3 実施計画

基本計画の計画期間である10年間の中で、概ね3年ごとに策定します。

#### 総合計画の構造と計画期間



### 3 対象地域

計画対象地域は高知市全域とします。ただし、国際的な課題への対応や広域的な連携など、必要に応じて市域外についても対象地域に含めるものとします。



## 第3章 高知市の概要

### 1 自然

#### ■ 地勢

高知市は、四国南部のほぼ中央に位置し、市内には東経133度33分33秒、北緯33度33分33秒と3が並ぶ「地球33番地」があります。市域北部の北山に源を発する平成の名水百選に選定された清流・鏡川の下流域を中心に、都市が形成されています。南は浦戸湾を経て土佐湾に面し、東西に広がる海岸線から黒潮が流れる雄大な太平洋を一望できる地理的条件にあります。

北部の中山間地域は豊かな自然が今も残り、中央の平野部は標高が低く、特に河口付近には約7kmにわたって海拔ゼロメートル地帯が広がっています。南西部は田園が広がり、農業が基幹産業として発展しています。市街地に面して広がる浦戸湾は風光明媚な景観を有するとともに、自然の多様性が豊かな汽水域でもあります。

#### 高知市の位置と面積

経緯度		東西 最長距離	南北 最長距離	面積
東経	北緯			
133度31分53秒	33度33分32秒	21.49km	24.83km	308.99km <sup>2</sup>

#### ■ 気候

年間を通じて降水量が多く、年によっては3,000mmを越す世界的にも有数の降水量があるとともに、年間2,000時間を超える日照時間は都道府県庁所在都市で上位に位置しています。年平均気温については、都道府県庁所在都市の平均値と比較して1~2度ほど高く、総じて温暖です。

高知市は植物の生育条件として重要な水、光及び気温に恵まれており、農作物などの生産に有利な気候条件にあります。

### 2 歴史

#### ■ 都市のなりたち

高知市は、浦戸湾沿岸に広がる平野を活用して新田や市街地を拡大してきました。中世から戦国期にかけて当時の土佐国の中心地としての位置付けがなされるようになり、長宗我部元親や山内一豊らが城下町を形成して以来、土佐の政治、経済、文化の中心地として発展してきました。

#### ■ 明治維新・自由民権運動

幕末には坂本龍馬、武市瑞山ら勤王の志士を輩出して明治維新の礎を築き、維新後においても、「自由は土佐の山間より」といわれるように自由民権運動発祥の地として、板垣退助や植木枝盛ら多くの人材が活躍し、その思想を全国に発信しました。

#### ■ 市政のあゆみ

市制の施行は1889(明治22)年であり、以後、幾度かの合併を経ながら県都として発展してきました。空襲や南海地震などにより大きな被害を受けましたが、復興へのめざましい取組を経て地方中核都市として発展し、1998(平成10)年には四国初の中核市となりました。

現在、県民人口の4割以上の人々が暮らす地方中核都市であるとともに、みどり豊かな森林を持つ鏡村・土佐山村、県内有数の農

業生産高を誇る春野町との合併により、中山間地域、田園地域、都市部がバランスよく調和し、仁淀川と、市内中心部を流れる鏡川などの清流を有する都市となっています。

### 3 文化

#### ■ 風土

高知市は高い多様性と優位性を併せ持つ自然と、その自然に対して先人が営々と働きかけてきた歴史、そして自然と調和しながら発展した産業が織りなす、独特の文化が花開く土壌を培ってきました。さらに、多くの知識人や文化人の影響を受けながら文化の成熟度を高め、現代まで受け継いできました。

このような風土によって培われた明朗闊達で反骨精神の強い土佐人の気質は、幕末の志士や自由民権運動での活躍に現われただけでなく、現代においても、市民の積極的な協働の精神として受け継がれています。

#### ■ 地域に根ざした文化

江戸時代から連続と続く日曜市をはじめとした街路市には、新鮮で豊富な食材が並び、高知市の地産地消の食文化を支えてきました。豪快な皿鉢料理に代表される「おきゃく」(宴会)や箸拳などは、土佐の宴席文化として広く注目されています。

また、鏡大利の太刀踊り、土佐山高川の早飯食い、春野の西畑デコ芝居、長浜のどろんこ祭りなどに代表される中山間地域の「山の文化」や田園地域の「里の文化」が、それぞれの地域において継承されてきました。

芸術文化については、市内各所で市民の多彩な活動が繰り広げられており、大規模な文化的催しが市民の力で成功しています。横山隆一など独特な作風を持つ作家を輩出したまんがや、全国各地の200か所以上で開催されるまでに広がりを見せた本家本元のよさこい祭りなどは、自由で豊かな表現を基礎とした独特の芸術や文化として昇華し、日本国内だけでなく海外までその発信力が広がっています。



明治時代の日曜市

## 4 人口の状況

高知市の総人口は、2005(平成17)年までは増加傾向にありましたが、2006(平成18)年以降は減少しており、2015(平成27)年国勢調査においては337,190人となっています。高知県の総人口の4割を超えて推移しており、年を追うごとにその割合が上昇しています。

世帯数は総じて増加傾向にあり、2015(平成27)年の総世帯数は153,594世帯、1世帯当たりの人員は2.20人となっています。なお、単独世帯の割合が高く、2015(平成27)年で40.2%と全国平均(34.5%)を大きく上回っています。

年齢3区分別人口の割合を見ると、2015(平成27)年現在で0～14歳が12.8%、15～64歳が59.5%、65歳以上が27.7%となっており、年々高齢化率の上昇、若年層の減少が進んでいます。

出生・死亡による自然動態の推移を見ると、出生数は減少傾向にあり、逆に、死亡数は上昇傾向を示しています。全国の状況と同様に、2005(平成17)年に初めて出生数が死亡数を下回っており、これ以降、高知市では人口の自然減少が続いています。

転入・転出による社会動態の状況を見ると、2010(平成22)年には転入者数と転出者数がほぼ同数になっていますが、全国の有効求人倍率が回復基調であった期間と重なるように、2005(平成17)年から2008(平成20)年にかけて転出が転入を大きく上回っており、近年の高知市の人口減少拡大の大きな要因となっています。

## 5 土地利用の状況

高知市の面積は309.22km<sup>2</sup>(注)であり、このうち森林面積が2008(平成20)年現在で174.24km<sup>2</sup>と、市域面積の約56%を占めています。

鏡村、土佐山村、春野町との合併により、農用地面積は約2倍に、また、森林面積は約3倍となっており、合併前と比較して、自然的な土地利用の割合が大きく増加しています。

注) 国土地理院「平成26年全国都道府県市区町村別面積調」により、2014(平成26)年10月1日以降の高知市の面積は308.99km<sup>2</sup>。

## 6 地域経済の状況

高知市の総生産は、2012(平成24)年度で、およそ1兆290億円となっています。産業別の構成比を見ると、第1次産業が1%に満たないのに対し、第3次産業は9割を超えており、この割合は全国との比較においても高いものとなっています。

産業別の内訳を見ると、サービス業、卸売・小売業などが10%を超え、現在の高知市の主要産業となっており、特に、サービス業の構成比は全国の19.71%に対し高知市は29.85%と突出して高く、高知市の産業における強みとなっています。一方で、製造業の構成比を見ると、全国の18.34%に対して高知市は4.28%と特に低く、強化が望まれる産業となっています。

なお、総生産における構成割合は低いものの、春野町との合併により農業生産額は県全体の12%余りを占め、県内市町村中で第一位となったほか、林業、水産業及び鉱業を除いた各産業の構成比が同様に第一位となっています。

また、2010(平成22)年現在で総就業者数は145,864人となっています。産業分類別の就業割合は、第1次産業が3.11%、第2次産業が15.23%、第3次産業が81.66%と、第3次産業が最も高くなっています。

その内訳を全国と比較すると、医療、福祉への就業割合が高くなっています。また、総生産における比較と同様に製造業への就業割合が特に低く、全国の16.15%と比べると約9ポイント低くなっています。

就業者総数に占める男女別の割合を見ると、女性の割合が全国平均と比較して高く、高知市の就業構造における特徴の一つとなっています。

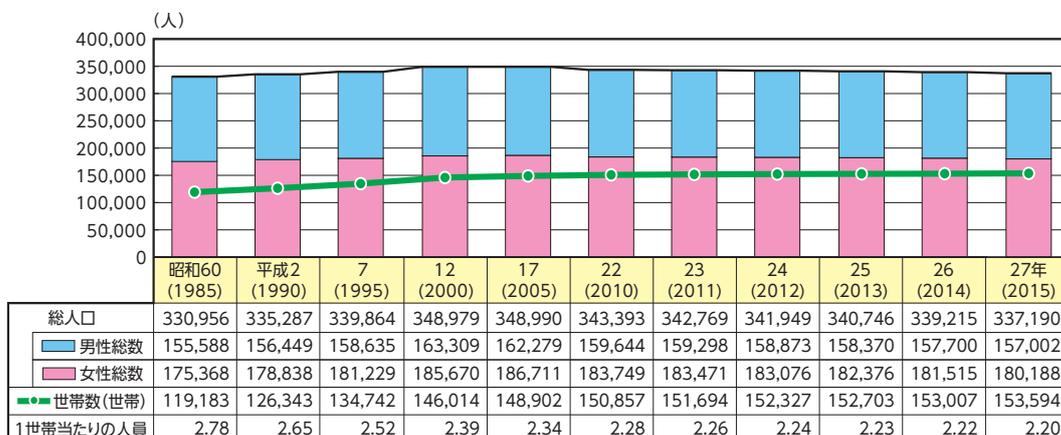
## 7 財政の状況

高知市では、脆弱な財政基盤の中、度重なる台風災害に対処するための浸水対策を中心に公共事業を行ってきましたが、1994(平成6)年頃からは、土地区画整理事業、街路事業、文化・清掃施設建設などの都市基盤整備に重点的に取り組んできました。

一般会計実質収支では黒字決算を保ってきましたが、この間の集中した公共事業で発行した起債の償還や社会保障経費の増大などによる歳出増や地方交付税の削減などにより、2009(平成21)年度から2013(平成25)年度までの5年間で約244億円の収支不足が見込まれていたため「新高知市財政再建推進プラン」を策定し、収支改善に取り組んできました。その結果、5年間の合計で目標を上回る約338.9億円の収支改善を達成することができ、財政再建を果たすことができました。

しかしながら、類似団体との比較においては、起債残高は、依然として高く、財政指標についても低水準にあるため、引き続き、財政健全化に向けた取組を進めていきます。

人口及び世帯数の変遷(高知市)



資料：国勢調査

2011(平成23)年から2014(平成26)年は高知市推計人口(各年10月1日現在)

※旧高知市・旧鏡村・旧土佐山村・旧春野町の合計値。

## 第4章 高知市を取り巻く状況

### 1 世界の状況

経済の地球規模での展開と情報化の進展により、世界は相互に関係を深めるとともに、わたしたちの生活水準は向上し、多様な価値観や生活様式が生まれています。

一方で、世界の総人口は増加し続けており、それに伴い資源の枯渇、食糧の不足、とりわけ水不足が懸念され、さらに、地球温暖化をはじめとする地球規模での環境問題が深刻化する中で、自然環境の保全・再生と、文化・文明の発展の両立が人類共通の課題となっており、省資源・省エネルギー型の環境負荷の少ない社会への転換や、地球温暖化対策をはじめ、水や食糧資源の活用などの分野で、新技術の開発や新事業の展開が期待されています。

### 2 日本の状況

#### ■ 自然災害に対する危機感の高まり

2011(平成23)年の東日本大震災をはじめ、自然災害が相次いで発生し、南海トラフ地震や都市直下型地震などの巨大地震の発生が予想され、人々の自然災害に対する危機感が高まっています。

このような大規模災害等から国民の生命や財産を守るとともに、経済や社会への被害を最小化して迅速に回復するため、2014(平成26)年6月に国において国土強靱化基本計画が策定され、地方自治体では国土強靱化地域計画の策定が進んでいます。

国土強靱化を実効あるものとするためには、自治体や市民、民間事業者などの関係者が総力を挙げて取り組むことが不可欠であり、ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせながら強靱な地域づくりを計画的に進めていく必要があります。

#### ■ 少子化、高齢化、人口減少の進行

総人口は2008(平成20)年の1億2,808万人をピークに減少に転じ、今後も長期にわたり人口減少が続く本格的な人口減少社会を迎えました。出生数の低迷に加え、既に高齢化率は20%を超え、2050(平成62)年には40%弱にまで達すると予測されており、未だかつて経験したことのない超高齢社会を迎えようとしています。

このような社会構造の変化により、経験等の豊富な高齢者が増加する一方で、経済成長力の低下、社会保障分野における需要の増大など、社会経済全般にさまざまな影響を与えると予測されています。

こうしたことから、子どもを生み育てやすい環境の実現とともに、高齢者が安心して健康な生活を送り、元気に活動することができる社会の構築が求められています。

#### ■ 地方創生の推進

急激な人口減少を背景に、2060(平成72)年に1億人程度の人口確保をめざすことを示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、その実現に向けた国の取組を示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が2014(平成26)年12月に閣議決定されました。

これらを受け、各自治体では、地域の個性と魅力を活かし、地方における安定した雇用の創出や、地方への新しい人の流れの創出、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくりなどを主眼とした、「地方版総合戦略」を策定しました。

今後は、国と地方、産業界、大学、金融機関等が一体となり、まち・ひと・しごと創生の取組を積極的かつ着実に推し進めていくことにより、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり活力ある日本社会を維持していくことが重要となっています。

#### ■ 格差社会の拡大

国内経済は緩やかな回復基調にあるものの、中小企業や地方の企業においては、景気回復の波及効果は必ずしも行き渡っておらず、地方と大都市圏の経済格差拡大等が、若い世代の地方からの流出と、大都市圏へのさらなる一極集中を招いている状況にあります。

また、わが国の生活保護世帯数は1994(平成6)年以降、一貫して増加を続け、特に「子どもの貧困」が全国的に深刻化しており、相対的貧困率は主要国の間でも高く、雇用の安定・質の向上やセーフティネットの充実などによる、生活不安の払拭が大きな課題となっています。

産業構造では、サービス業を中心とする第3次産業への就業が増加する一方で、第1次産業は高齢化や後継者不足、食生活の多様化などを背景に低迷しており、農山漁村での高齢化・過疎化が進行するとともに、農地や山林等の荒廃が進み、地域の活力と文化の喪失が懸念されています。

都市部においても、地方都市では人口の郊外化が進む中で、都市の顔であった中心市街地が衰退するなど、まちの個性の喪失と地域コミュニティの希薄化といった問題が深刻化しています。

このためそれぞれの地域では、歴史や文化など地域の独自性を活かして、住民が愛着を持って生活できる地域を形成し、定住人口の減少防止と交流人口の拡大をめざす取組が模索されています。

#### ■ 訪日外国人観光客の増加

わが国の訪日外国人旅行者数は、観光ビザ発給要件の緩和等を背景に急増しています。全体の8割近くがアジアからの旅行者となっており、訪日観光における消費に対する期待が高く、インバウンド消費額も2014(平成26)年には初めて2兆円を突破しました。

今後、2020(平成32)年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控えていることから、官民一体となった訪日観光客の受入環境の整備や、魅力ある観光地づくりなど、これまで以上にインバウンド観光を推進し、観光立国の実現に向けて取り組んでいくことが求められています。

### 3 高知県内の状況

高知県は、歴史的に概ね100年ないし150年の間隔で発生する南海トラフ地震により、過去から繰り返し大きな被害を受けてきました。1946(昭和21)年の南海トラフ地震発生から、70年余りが経過し、次の南海トラフ地震が発生する可能性が高まっています。

南海トラフ地震が発生すると、県内では大きな揺れと沿岸域への津波の襲来が想定されていることから、建築物の耐震化や津波避難対策などの取組が求められています。

また、高知県では、全国に先行して少子化、高齢化及び人口減少が進行しており、経済の縮小が若者の県外転出を招き、特に中山間地域の衰退や少子化が進行するなど、人口減少の負の連鎖が生じています。

このため、中山間地域における小さな拠点づくりにより、住民の暮らしを守りながら人口減少を抑制する取組や、2016(平成28)年に策定された「第3期高知県産業振興計画」に基づき、高知市地域をはじめとする県内7ブロックで、農業、商工業など各種産業分野において、地産地消、地産外商の取組を強化し、拡大再生産につなげていく取組などが進められており、今後も、この産業振興計画と方向性を合わせ、相乗効果を発揮しながら、周辺地域との連携により、共に発展していくことが求められています。

## 第1章 高知市のめざすべき方向

### 1 新たな共生社会に向けて

#### ■ 新たな共生社会

わたしたちは、心の豊かさをもたらしてくれる自然の大切さに気付き、より自然を大切に、他者を思いやる方向へと価値観の転換を促されています。今後は、自然と人、人と人が共生しながら発展し、物財の豊かさだけでなく、精神的な豊かさを重視する新しい社会の規範と個々人の倫理が確立した「新たな共生社会」を構築することが必要となってきました。

#### ■ 高知市のめざすべき方向性

わたしたちは、すばらしい食を育み大きな安らぎと癒しを与えてくれる地域の自然と地域の文化、地域に根ざした産業を先人から受け継いだ財産として大切にしながら、より環境を重視する方向へと価値観の転換を図っていくとともに、行政と住民をはじめ多様な主体の連携と協力により、地域の資源にさらに磨きをかけていかななくてはなりません。

そして、次世代に引き継いでいく財産として、新しい地域発展の可能性を探りながら、持続可能なまちを創造し、新たな共生社会の構築をめざします。

### 2 まちづくりの理念

高知市は、地域の発展を将来にわたって持続可能とするために、市民がこれまで培ってきた自然と人の絆、人と人の絆を強めるとともに、自然と人とまちなり方を見つめ直し、自由と創造の精神に満ちた新たな共生都市を築き上げていきます。

#### 1 自然と人の共生

高知市は、自然を理解し畏敬しながら巧みに活用してきた先人の知恵を受け継ぎ、自然と共生する精神を育んでいきます。

そして、都市化の進展とともに希薄となった自然と人の関係を見直し、地球規模に広がる環境問題に対して、解決の方策となる共生の精神を持って地域から率先して実践していきます。

#### 2 人と人の共生

高知市は、郷土の風土と歴史が育んできた自由と創造の精神を受け継ぎ、平和と人権を尊び、人と人のつながりの中で子どもから高齢者まで市民全員が幸せを実感し、安心して暮らせる地域社会を創造します。

そして、地域に誇りと愛着を持っていきいきと活躍する人材を地域全体で育んでいきます。

#### 3 自然と人とまちなり方の共生

高知市は、これまで幾多の災害を乗り越えて築き上げられたまちづくりの成果を受け継ぐとともに、自然や歴史に根ざした地域の産業と文化の価値を見直し、自然との共生を基本としながら都市と産業のあり方を再構築することによって、自然と人とまちなり方が調和し、自立した持続可能な都市を築き上げていきます。



# 森・里・海と人の環<sup>わ</sup>

## 自由と創造の共生都市 高知

わたしたちのまち高知市は、太平洋に開かれた豊穡の地にあり、豊かな自然と長い歴史の中で培われた、明るく闊達で慣習にとらわれない、自由と創造の精神に満ちた土佐の風土の中で発展を続けてきました。

このまちを未来に向かって持続的に発展させ、次世代へと伝えていくために、森に発し、里を経て、海へと通じる清流をはじめとする豊かな自然とそこに住む

人々が共生しながら、さらにまちの発展が調和する、「環境」を基軸とした新しい共生文化を自由な精神を持って創造する都市をめざし、

『森・里・海と人の環<sup>わ</sup> 自由と創造の共生都市 高知』

を将来の都市像と定め、明るさとにぎわいに満ちた元気あふれる高知市を築き上げます。

# 環<sup>わ</sup>

森・里・海の自然豊かな「環境」の中で、  
連携・協力し合う人々の「和<sup>わ</sup>」を地域の「輪<sup>わ</sup>」に広げる  
共生都市の創造



## 第3章 施策の大綱

高知市のめざすべき方向を踏まえ、将来の都市像「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」を実現するために、環境を基軸とした次の6つの「環」を施策の大綱として掲げ、新しい高知市のまちづくりを推進します。

### 1 共生の環

自然と人とまちのそれぞれが調和し共生する地域社会を創造していくために、自然を理解し保全するとともに、人と人が平和で互いに尊重しあい協力しあう、「共生の環」を創造します。



### 3 育みの環

次代を担う子どもたちが健やかに育ち、すべての人々が生涯を通じていきいきと学び楽しみながら向上していくように、子育てへの支援や教育を充実し、文化を振興する「育みの環」を展開します。



### 2 安心の環

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会を構築するために、地域社会全体で人と人が互いに支え合う「安心の環」を充実します。



## 4 地産の環<sup>わ</sup>

地域の産業の特色や機能、優れた地域の資源を最大限に活かしながら、地方中核都市として広域の需要を担い、人や物が活発に交流する活力ある産業活動を実現するために、県域全体の発展に貢献する「地産の環<sup>わ</sup>」を構築します。



## 5 まちの環<sup>わ</sup>

中山間地域、田園地域、都市部それぞれの地域がその特性を活かしながら発展し、各地域で人々が安心して心豊かに生活できるように、自然と人とまちとが調和する、地方中核都市ならではの安全で快適な都市空間を創出する「まちの環<sup>わ</sup>」を形成します。



## 6 自立の環<sup>わ</sup>

地域が将来にわたって持続的に発展できるように、県域における連携・交流をリードするとともに、健全な行財政運営の下で市民ニーズに的確に対応した独自の自治を進める「自立の環<sup>わ</sup>」を確立します。



## 第4章 都市フレーム

### 1 将来人口

高知市の総人口は、少子化の進展や、転出者が転入者を上回る社会移動により、今後、人口が減少することが見込まれています。高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは、産業振興や新たな人の流れの創出、少子化対策といった地方創生の推進により、2060(平成72)年の目標人口を28万人に定め、人口減少の克服に取り組むこととしています。

また、年齢3区分別人口では、年少人口は2020(平成32)年までは微減傾向ですが、2025(平成37)年を境に微増へと転じ、また、老年人口は、増加傾向が続き、2035(平成47)年には3人に1人が高齢者となりますが、2045(平成57)年まで引き続き増加傾向となると予測されています。

高知市においても人口減少は避けることのできない課題であることから、国の政策の動向を注視するとともに、施策展開に当たっては、地方中核都市としての都市の活力とにぎわいを維持するために、少子化、高齢化への対応を進めます。同時に、産業振興による地域での雇用の維持・拡大等や定住施策を進めるなど、社会移動により生じる人口減少の抑制をめざすこととします。

### 2 土地利用

#### 1 土地利用の基本方針

市域を構成する中山間地域、田園地域及び都市部が持つ多様な特性を活かした、バランスの取れた発展をめざします。

今後の人口減少と高齢化の進展を見据えて、既存の公共施設を有効活用するとともに、市街地の外延的拡大を抑制するなど、公共投資を効果的・効率的に行う集約型の都市構造とします。

さらに、市域の半分以上を占める森林などの自然環境の保全、公共交通の利便性の向上や利用促進などに取り組むことによって低炭素社会の実現をめざすとともに、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めます。

こうしたことから、市域を都市地域と自然地域に大別し、さらに、都心ゾーン、既成市街地ゾーン、周辺市街地ゾーン、中山間地域ゾーン及び田園地域ゾーンに区分して、それぞれの地域の活力の向上をめざした土地利用を図ります。

#### 2 ゾーン別方針

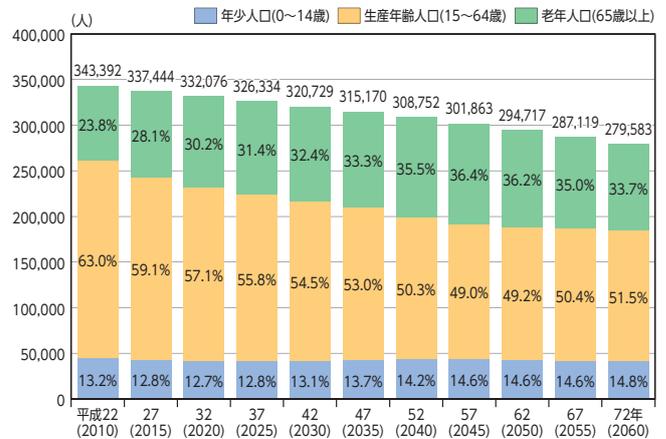
##### 都市地域

都市地域では、都市全体の機能性や市民生活の質を向上させ、都市の魅力と活力を高め自立的な発展を図っていくため、それぞれのゾーンの特性に合わせた都市機能が適切な位置に集積し連携する都市環境の形成に取り組み、都市の活力向上をめざします。

##### 自然地域

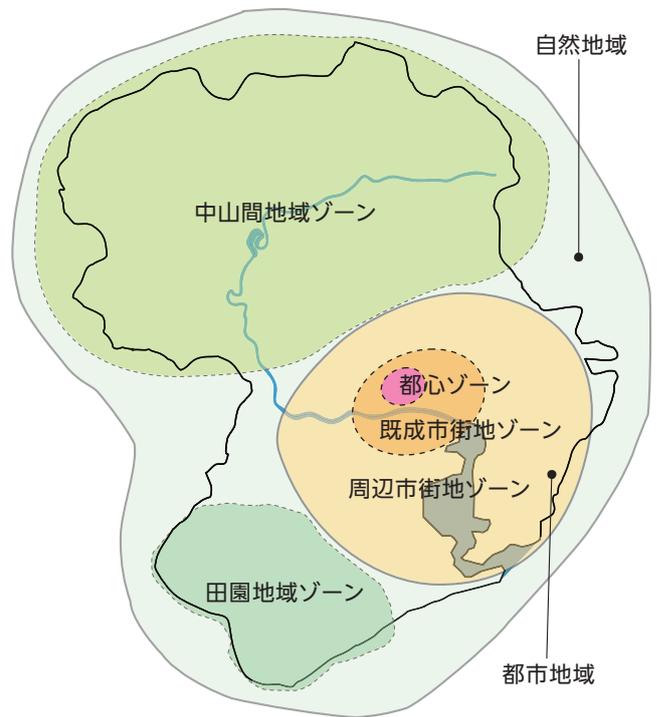
自然地域では、農地・森林・河川などの自然環境の維持・保全に努めるとともに、集落機能の維持を図ります。また、都市地域との交流人口の拡大を図るため、人と自然のふれあい・憩いの場としての活用を図るとともに、地域の特性に応じた地場産業を活かし、地域の活力向上をめざします。

高知市の将来人口推計



資料：平成 22(2010) 年は、国勢調査  
平成 27(2015) 年以降は、高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

ゾーニング図



(イメージ)

# 基本計画編

## 総論

- 第1章 基本計画の趣旨及び構成
- 第2章 推進戦略「維新・創生 高知市」
- 第3章 高知市強靱化計画と高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえた施策展開
- 第4章 維新・創生 8大エンジン

## 各論

- 施策体系
- 第1章 共生の環
- 第2章 安心の環
- 第3章 育みの環
- 第4章 地産の環
- 第5章 まちの環
- 第6章 自立の環
- 成果指標



# 基本計画編 総論

## 第1章 基本計画の趣旨及び構成

### 第1節 計画の役割

基本計画は、基本構想に定めた将来の都市像「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」及びその実現に向けた6つの施策の大綱に基づき、それらを実現するための施策を体系的に示すものです。

### 第2節 計画の期間

2011(平成23)年度から2020(平成32)年度までの10年間を計画期間としていますが、社会経済情勢や国の制度改革など、高知市を取り巻く状況が大きく変化していることや、「高知市強靱化計画」、「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」などが策定されたことを踏まえ、折り返しとなる5年目に必要な見直しを行い、見直し後の基本計画の期間は、2016(平成28)年度から2020(平成32)年度までの5年間とします。

### 第3節 計画推進の基本方針

基本計画では、基本構想で定めたそれぞれの「施策の大綱」に基づく「分野別施策」に加えて、分野の垣根を越えて横の連携を図りながら、戦略的な視点を持って優先的・重点的に進める横断的施策として「推進戦略」を設けます。

さらに、計画を実効性あるものとするため、諸施策の推進に当たっては、行政各部門において策定する各種行政計画・方針等と相互に補完・連携しながら進めます。

#### ●計画の実効性の確保

総合計画で示された政策及び施策の達成状況等について検証する「政策・施策評価」と、各部署における実際の取組である事務事業等の必要性、有効性等について検証する「事務事業評価」を導入し、これらの評価結果を将来の施策展開の改善につなげていくこととしています。

#### ☆政策・施策評価

総合計画の政策・施策に基づき、その達成状況や今後の方向性などを市民意識調査結果、事業実績及び外部委員等の意見を踏まえて評価するものです。

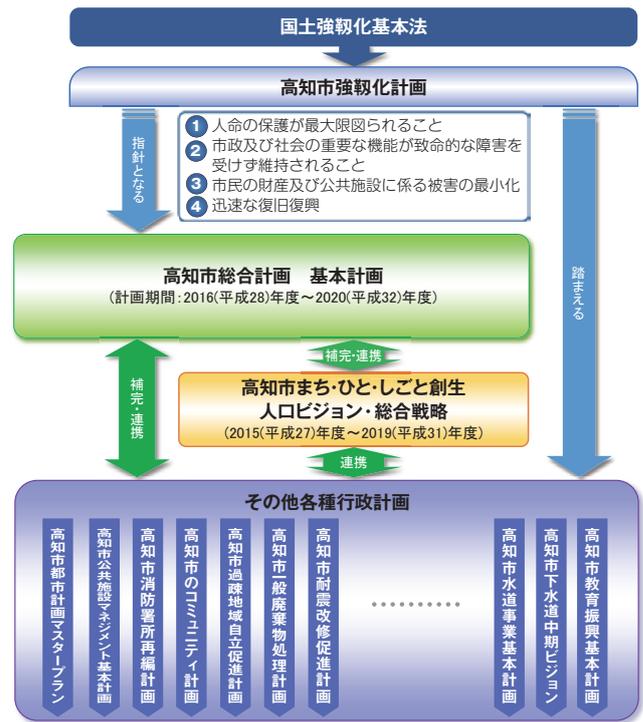
#### ☆事務事業評価

政策・施策に連なる事務事業について、実績、成果等から、その必要性、有効性、効率性、公平性などを評価するものです。

### 第4節 計画見直しのポイント

本基本計画は、各種行政計画と補完・連携しながら整合を図り計画を推進するものですが、2015(平成27)年度に策定した「高知市強靱化計画」の国土強靱化に関わる部分については、高知市が有するさまざまな分野の計画等の指針となり、総合計画をはじめとする他の計画の上位計画に位置付けられる「アンブレラ計画」となることから、「高知市強靱化計画」を踏まえた必要な見直しを行います。

また、2015(平成27)年度策定の「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」とも整合を図り、計画を推進します。



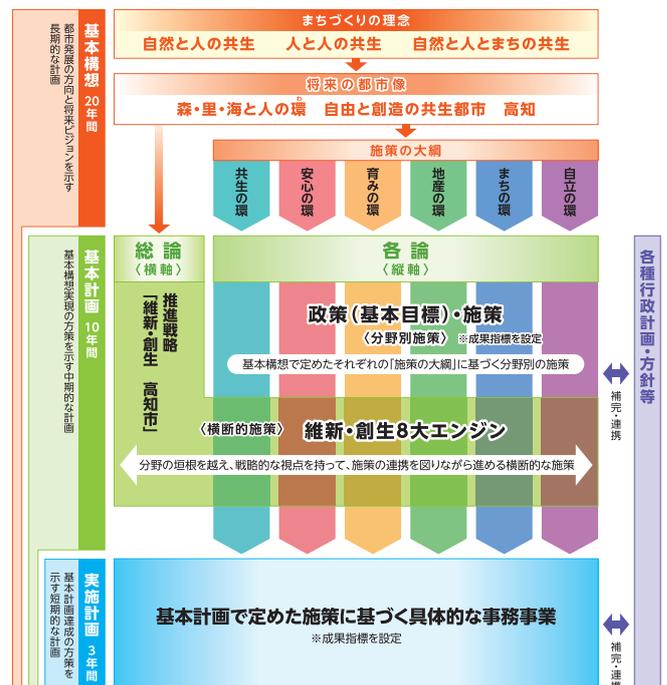
### 第5節 計画の構成

本基本計画は、「総論」及び「各論」で構成します。

総論では、計画の役割、計画の期間、計画推進の基本方針、計画見直しのポイント及び計画の構成を示すとともに、横断的施策となる推進戦略「維新・創生 高知市」を示します。

各論では、基本構想に定められた6つの施策の大綱に基づく、それぞれの分野別の「政策（基本目標）」「施策」を示します。

#### 総合計画の全体構成と基本計画の位置付け



## 第2章 推進戦略「維新・創生 高知市」

### 第1節 推進戦略「維新・創生 高知市」の位置付け

推進戦略は、「高知らしさを活かし地域の活力を高める」という戦略的な視点から、優先的・重点的に推進すべき取組として掲げるものであり、基本構想において定められた6つの施策の大綱につらなる各施策の有機的な連携を図るための基本的な考え方となるものです。

2011高知市総合計画を策定以降、高知市を取り巻く環境は大きく変化し、東日本大震災を契機に、南海トラフ地震から市民の生命と財産を守る取組が喫緊の課題となっていることや、今後、人口減少や少子高齢化が加速的に進行していくことが予想されており、高知市全体を活性化させ、周辺市町村との共栄を図りながら、人口減少克服に向けた積極的な取組を推進していくことが求められています。

このため、2015(平成27)年度に策定した、「高知市強靱化計画」や「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進していくことが必要であり、この2計画を中心に、6つの施策の大綱を横断的に貫き、市民の暮らしを支え、高知市全体の活性化につながる推進戦略として、「維新・創生 高知市」を位置付けることとします。

### 第2節 高知市の主要課題

基本構想で掲げた「まちづくりの理念」「将来の都市像」を踏まえ、「高知市の特徴」(内的要因)を、今後の取組によって活かし、伸ばすべき「強み」と、改善し、克服すべき「弱み」に分類します。

さらに、「高知市を取り巻く状況」(外的要因)から、今後の取組に対する追い風として捉え、活かすべき社会的背景といえる「機会」と、向かい風として乗り越え、挑戦すべき社会的背景といえる「脅威」を抽出し、今後5年間で優先的・重点的に取り組むべき主要課題を設定します。

### 第3節 推進戦略「維新・創生 高知市」の方策

推進戦略「維新・創生 高知市」においては、基本構想において示された今後20年間を見通したまちづくりの理念と、将来の都市像を前提に、高知市の特徴と取り巻く状況を踏まえた主要課題の解決に向けて、優先的・重点的に取り組む必要がある8つの方策を「維新・創生8大エンジン」として設け、市民と行政が力を合わせて新たなまちづくりを力強くけん引していきます。



### 維新・創生8大エンジン

新たなまちづくりを力強くけん引するために、高知らしさを活かし地域の活力を高める推進戦略に掲げる8つの方策。優先的・重点的な位置付けの下、実現に向けての方針を定め、市民と行政が力を合わせて組織的な対応を図るための体制を構築し、それぞれの分野の垣根を越えた有機的な連携を進める。

#### ☆エンジンとは…

一般的には動力機関といった意味合いがあるが、基本計画では、高知市の主要課題の解決を図るための方策であるとともに、その方策の実現に向けて、市民と行政がそれぞれの分野の垣根を越えた有機的な連携を図るための体制やシステムづくりも含めたもの。新たなまちづくりを力強くけん引するための原動力としてのイメージを込めている。

## 第3章 高知市強靱化計画と高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえた施策展開

### 1 「高知市強靱化計画」を踏まえた施策展開

#### 「高知市強靱化計画」の目的と方針

高知市強靱化計画は、大規模自然災害に対して、市民の命を守り、地域・経済社会に致命的な被害を負わず、迅速な復旧・復興が可能となる「強靱な高知市」の構築に向けて、国土強靱化に関する施策を計画的に推進することを目的として策定しており、以下の4つを基本目標として、いかなる大規模自然災害に対しても国土強靱化の取組を推進するものとしています。

#### 高知市強靱化計画の基本目標

- 1 人命の保護が最大限図られること
- 2 市政及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- 3 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- 4 迅速な復旧復興

また、基本目標の実現に向けて、事前に備えるべき8つの目標を設定し、それぞれに起きてはならない最悪の事態を設定して、その事態を回避するために何が不足し、何をすべきかについて、強靱化の推進方針（指針）を示しており、この推進方針を踏まえて、総合計画をはじめその他各種行政計画において必要な施策を具体化し、取り組んでいきます。

#### 「高知市強靱化計画」を踏まえた施策展開の考え

本基本計画では、高知市強靱化計画に記載されている8つの「事前に備えるべき目標」に沿って、対応すべき維新・創生8大エンジンの「1 大規模災害に備え、市民の生命と財産を守り、まちの安全を高める」の3つの「実現に向けての方針」を設定し、強靱化の推進方針（指針）に示された方針を踏まえて、それぞれ基本計画の施策に反映していくものとします。

#### 維新・創生8大エンジン「1 大規模災害に備え、市民の生命と財産を守り、まちの安全を高める」を踏まえた施策への反映について

命を守ることを第一に考え、ハード対策やソフト対策により、災害に強いまちづくりを進めるとともに、大規模災害の発生後でも直ぐに復旧・復興できる強靱さを備えた体制づくり、防災まちづくりの充実につなげていきます。

#### 高知市強靱化計画における事前に備えるべき目標

- 1 大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる
- 2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）
- 3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する
- 4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する
- 5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動の早期復旧を図る
- 6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る
- 7 制御不能な二次災害を発生させない
- 8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

#### 本総合計画基本計画の施策への反映

- 命を守る対策の推進
- 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）
- 消防・救急・医療体制の強化
- 災害からの迅速な復旧
- 復旧・復興体制の強化
- 安全で安定した水道水の供給
- 安全で円滑な交通体系の整備

### 2 「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた施策展開

#### 「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目的と方針

「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、高知市が直面する人口減少問題を克服するための具体的な戦略として、「高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で示した高知市がめざすべき人口の将来展望を実現するための必要な施策を取りまとめたものであり、以下の4つを基本目標として、施策に取り組むこととしています。

#### 高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

- 1 地産外商、観光振興等による産業活性化と安定した雇用の創出
- 2 新しい人の流れをつくる
- 3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する、女性の活躍の場を拡大する
- 4 バランスの取れた県都のまちづくりと地域間の連携により安心な暮らしを守る

この4つの基本目標の実現に向けて、それぞれ基本的な方向を示しており、この基本的な方向を踏まえて具体的な施策を検討し、総合計画をはじめ、その他各種行政計画とも連動させながら総合的かつ計画的な施策の推進を図っていきます。

#### 「高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた施策展開の考え

本基本計画では、対応すべき維新・創生8大エンジンとその「実現に向けての方針」を設定し、基本的方向に示された具体的な施策を踏まえて、それぞれ基本計画の施策において以下のように取り組んでいくものとします。

ここでは、基本目標1から基本目標3までは、それぞれと対応する維新・創生8大エンジンごとに、基本目標4については複数のエンジンが関係することからそれぞれの戦略に対応するエンジンを踏まえて、基本計画の施策に反映していくものとします。

**「基本目標1 地産外商、観光振興等による産業活性化と安定した雇用の創出」** についての維新・創生8大エンジン  
**「2 地産外商、観光振興により、高知の強みと地域資源を活かした産業を興す」** を踏まえた施策への反映について

高知市の強みである農林水産業の特色ある振興により付加価値化を進め、6次産業化と外商の強化を行い、競争力をより一層高め、新市場開拓・販路拡大を図ります。観光振興とも連携することで相乗効果を高め、その産業活性化を新たな雇用や新事業の創出につなげていきます。

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標1の基本的方向

- 1 地産の強化を図る ～農林漁業の振興～
- 2 外商の強化を図る ～新市場開拓・販路拡大～
- 3 外商の強化を図る ～観光振興～
- 4 地産外商の成果を拡大再生産につなげる ～創業・就職支援～

本総合計画基本計画の施策への反映

- 大地の恵みを活かした農業の振興
- 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興
- 地場企業の強みを活かした産業の振興
- 観光魅力創造・まごころ観光の推進
- 新たな事業の創出と企業誘致
- いきいきと働ける環境づくり

**「基本目標2 新しい人の流れをつくる」** についての維新・創生8大エンジン  
**「3 新しい人の流れを創出し、移住・定住を促進する」** を踏まえた施策への反映について

移住者のニーズを踏まえ、安心して受け入れられる体制や、併せて高知市の魅力や仕事や住まい、暮らしに関する情報発信力を強化し、定住環境の充実につなげていきます。

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標2の基本的方向

- 1 交流促進と受入体制の強化
- 2 居住環境の整備
- 3 特色ある教育による地域の活性化

本総合計画基本計画の施策への反映

- 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進
- 安全で安心な教育環境の整備

**「基本目標3 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現する、女性の活躍の場を拡大する」** についての維新・創生8大エンジン  
**「4 すべての市民が安心して健やかに暮らすことができる環境を整える」** を踏まえた施策への反映について

結婚を望む方の出会いの場があり、ワーク・ライフ・バランスが確保されることで、若い世代が、高知市で結婚・出産・子育てができ、切れ目のない地域ぐるみの子育て支援の下、母子ともに安心して成長していける環境の充実につなげていきます。

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標3の基本的方向

- 1 地域における切れ目のない子育て支援の推進 (高知市版ネウボラ)
- 2 将来家庭を築くための支援
- 3 妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備
- 4 子育て支援策の充実
- 5 子育て世帯の経済的負担の軽減
- 6 女性の活躍の場を拡大するワーク・ライフ・バランスの推進
- 7 地域一体となった教育の推進

本総合計画基本計画の施策への反映

- 子ども・子育て支援の充実
- 心と体の健やかな成長への支援
- 青少年の健全な心と体の育成
- 男女が共に活躍できる社会づくり
- いきいきと働ける環境づくり
- 安全で安心な教育環境の整備

**「基本目標4 バランスの取れた県都のまちづくりと地域間の連携により安心な暮らしを守る」** を踏まえた施策への反映について

都市部の機能を集約し、コンパクトなまちづくりを図る一方、中山間地域の振興による都市部と山間部との調和の取れたまちづくりをめざします。また、地域の防災活動や高齢者の健康づくり活動を通して地域コミュニティの活性化を行うことにより、今後も高知市に住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めるとともに、高知県や他市町村と共存共栄を図り、県全体のけん引役として機能を果たしていきます。

高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標4の基本的方向

- 1 広域連携の推進
- 2 コンパクトなまちづくり
- 3 地域コミュニティの活性化
- 4 災害に強いまちづくり
- 5 いきいき安心の社会づくり
- 6 中山間地域の暮らしを守る
- 7 人に優しい環境共生都市の実現
- 8 郷土愛の醸成

本総合計画基本計画の施策への反映

- 多様な交流・連携の推進
- 地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成
- 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化
- 命を守る対策の推進
- 生きがいづくりと介護予防の推進
- 高齢者の地域生活支援
- 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進
- 豊かな自然を育む緑と水辺の保全
- 豊かな自然とのふれあい
- 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進
- 地域文化の継承と発展

## 第4章 維新・創生8大エンジン

### 維新・創生 8大エンジン 1

## 大規模災害に備え、市民の生命と財産を守り、まちの安全を高める

### 実現に向けての方針

- ①大規模災害が発生したときでも、人命の保護が最大限図られるよう、災害に強い都市基盤整備や地域防災力の強化を図る
- ②大規模災害の発生直後であっても、地域社会・経済の迅速な復旧・復興に取り組める体制を構築する
- ③制御不能な二次災害を未然防止する



### 実現のイメージ

南海トラフ地震に対して、個人住宅や学校・保育園などの公共施設の耐震化が進み、地震の揺れから命を守る対策が着実に実行されているとともに、多くの自主防災組織が結成され、継続して防災訓練等が行われ、地域の防災力が高められている。

また、大規模な災害が起きても、迅速な復旧・復興に取り組めるよう、行政や企業等でBCPの策定や事前対策が取られている。

さらに、大規模な災害に係る二次災害が発生しないよう、消防体制が一層強化され、また密集市街地の改善や公園・緑地整備などの都市基盤整備が行われている。

### 維新・創生 8大エンジン 2

## 地産外商、観光振興により、高知の強みと地域資源を活かした産業を興す

### 実現に向けての方針

- ①地産外商の強化に取り組み、新市場開拓・販路拡大を通じて、産業振興を図る
- ②高知の豊かな観光資源を活かし、国内外からの観光客の誘致を図る
- ③企業誘致と併せて、創業支援や地場企業への支援を行い、大学・専門学校などと連携しながら雇用を創出する



### 実現のイメージ

高知市の特色ある地域資源を活かした、競争力・ブランド力の高い商品開発や、新しいビジネスが展開されるとともに、県外や海外の市場を視野に入れた地産外商が行われ、地域経済が活性化している。

「よさこい祭り」や「坂本龍馬」などの観光資源に磨きがかかり、豊かな自然や食文化を活かした、新たな観光資源が創出されるとともに、高知ならではの魅力が国内外に情報発信され、外国人観光客の受入体制の充実により、国内外からの観光客が増加している。

求職者のニーズに合った企業進出が進むとともに、創業支援や地場企業への効果的な支援と併せて、雇用が創出され、地元大学や専門学校との連携により、地元就職率が向上している。

### 維新・創生 8大エンジン 3

## 新しい人の流れを創出し、移住・定住を促進する

### 実現に向けての方針

- ①移住促進のための受入体制を強化する
- ②仕事・住まい・暮らしを柱として、すべての市民が住み続けることができる環境づくりに取り組む
- ③地域の特色や魅力を発信し、交流人口の拡大を図る



### 実現のイメージ

移住者を受け入れるための人材育成や地域の受入体制が整い、地域活性化住宅などの施設が整備され、「中山間地域暮らし体験滞在施設」などの活用により、多くの人が移住している。

仕事・住まい・暮らしに関する環境が整備されるとともに、特色ある学校教育や、地域コミュニティの活性化が進み、すべての市民が住み続けたいと思える環境が整っている。

こうした高知の魅力や移住を検討するために必要な情報が、SNS等で効果的に情報発信され、交流人口や移住者の増加につながるという好循環が生み出され、人口減少に歯止めがかかっている。

### 維新・創生 8大エンジン 4

## すべての市民が安心して健やかに暮らすことができる環境を整える

### 実現に向けての方針

- ①すべての市民が、ライフステージに応じて、心身ともに健やかに安心して暮らすことができる環境を構築する
- ②出会いの機会を提供し、結婚や子育てにかかる不安を解消することで、結婚や出産の希望をかなえる
- ③地域ぐるみで子育てを支援するしくみを構築し、切れ目のない子ども・子育て支援を推進するとともに、女性の活躍の場を拡大するための支援策や、しくみを構築する
- ④高齢となっても、自分らしく、住み慣れた地域で暮らしていけるしくみを構築する

### 実現のイメージ

すべての世代が健康づくりに主体的に取り組み、心身ともに健やかに安心して暮らしている。また、高齢者や障がい者、生活困窮者の暮らしを社会全体で支えるしくみが確立されている。

高齢者が住み慣れた地域の中で、「地域包括ケアシステム」の下で、誰もが安心して暮らしていける環境が整っている。

子どもの成長に合わせた、地域における、連続性・一貫性のある切れ目のない支援体制が整備され、子育てに関する経済的負担の軽減や、ワーク・ライフ・バランスの推進により、安心して結婚・出産・子育てができる環境が整い、子育ての希望が実現されている。

## 維新・創生 8大エンジン 5 知・徳・体の調和のとれた人材を育てる

### 実現に向けての方針

- ①土佐の先人の進取・自立の気風に学びながら、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた、たくましい人材の育成をめざす
- ②人権と平和を尊重する人材の育成に取り組む



### 実現のイメージ

「教育は人づくり」という観点からの教育行政の下で教育改革が進み、子どもの目線からの改善・改革が常に行われている。

学校と家庭、地域が一体となった取組が実践され、大きな成果を挙げることで、子どもたちが健全に成長し、将来に、夢と希望、志を持つ、進取・自立の精神にあふれた人材が育っている。

また、いじめや暴力、不登校などのさまざまな教育課題についても、学校をはじめ、関係機関・保護者や地域の人々の連携・協力により、解決に向けての適切な取組が行われている。

さらに、地域でも差別や偏見のない社会の実現に向けた取組が進められ、市民一人ひとりに人権と平和を尊重する意識が浸透している。

## 維新・創生 8大エンジン 6 豊かな自然環境の保全と低炭素・循環型都市を創る

### 実現に向けての方針

- ①森・里・海の自然環境や、多様な生態系を保全し、自然と共生しながら、次世代へと引き継ぐ
- ②環境負荷の少ない、低炭素・循環型都市の実現に取り組む
- ③高知市の自然条件を活かした新エネルギーの導入を推進する



### 実現のイメージ

森・里・海の自然環境や、多様な生態系の保全が行われるとともに、環境学習や自然体験を通じて豊かな自然を守る心が育まれ、次世代へと着実に受け継がれている。

分別収集や再資源化など、適正な廃棄物処理が継続され、不法投棄のない、環境負荷が少ない循環型都市が構築されている。

高知市の気候風土を活かした太陽光やバイオマスなど新エネルギーの導入が進むとともに、家庭・事業者による省エネルギーの取組をはじめ公共交通の利用促進が図られ、低炭素なまちが実現されている。

## 維新・創生 8大エンジン 7 土佐の風土に根ざした歴史・文化を受け継ぎ発展させる

### 実現に向けての方針

- ①特色ある歴史と文化を活かし、地域に愛着と誇りを持つ「郷土愛」を醸成する
- ②自由で豊かな表現を基礎とした文化を活かし、より多くの市民に文化に触れる機会を提供することで、特色ある文化の創造をめざす



### 実現のイメージ

高知市の歴史文化や、地域の伝統芸能や食文化など、特色ある地域文化に多くの市民が親しみ、郷土への誇りや愛着を持ち、着実に次の世代に受け継がれている。

多くの漫画家を輩出してきた「まんが王国土佐」の取組が国内外に広がり、まんが文化を通じ、多彩な交流が行われている。

また、多彩な芸術文化を鑑賞したり、身近で芸術文化に触れることができ、市民の文化活動が盛んで、文化施設のみならず学校や地域において、楽しみながら、活発に芸術・文化活動が行われている。

## 維新・創生 8大エンジン 8 多様な主体と連携・協働しながら共に発展し、自主自立のまちを築く

### 実現に向けての方針

- ①地域住民や市民団体、産業界や大学などと行政が一体となって、地域の課題を考え、魅力ある地域の形成に取り組む
- ②防災・地域福祉・コミュニティの活性化等のさまざまな地域課題に対応するため、これまで築いてきた地域、行政それぞれの体制を受け継ぎながら、地域と行政の組織を強化し、自主自立のまちづくりの推進体制を確立する
- ③広域圏における市町村との連携を深め、県下の都市機能や産業、人口が集中する中核都市として、機能を発揮し、圏域市町村とともに、地域活性化と人口流出の抑制に取り組む
- ④市民ニーズに的確に応えるための行財政環境を確立する

### 実現のイメージ

地域住民や市民団体、大学や行政が一体となって地域の課題に向き合い、共に解決に向けて取組を進めながら、NPOやボランティアと協働し、地域の特性に応じた魅力的なまちづくりを行っている。

県内市町村と圏域を形成して連携が進められ、圏域市町村が共栄し、一定の圏域人口の維持と地域の活性化が図られている。

自立した自治体運営を持続させるための、より強固な財政基盤の確立に向けて、不断の行財政改革が行われている。さらに、広聴活動の推進により市民ニーズを的確に把握するとともに、各種媒体を通じた効果的な広報により、市民と協働して自立したまちを形成している。

## 施策体系

施策の大綱	政策(基本目標)	施策	
1 共生の環 <sup>わ</sup>	1 豊かな自然に親しみ、自然と共生するまち	自然環境	1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全
			2 豊かな自然とのふれあい
	2 地域文化に愛着を持ち、継承されるまち	地域文化	3 地球にやさしい環境汚染の防止
			4 地域文化の継承と発展
	3 地域の資源や再生可能エネルギーを活用した地球環境にやさしいまち	資源循環	5 資源循環型都市の構築
			6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減
		地球温暖化防止	7 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進
	4 平和と人権が尊重され、男女が共に輝けるまち	人権	8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり
			9 男女が共に活躍できる社会づくり
	5 多様な主体が連携し、市民と行政が協働するまち	市民との協働	10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化
			11 地域防災力の向上(命をつなぐ対策の推進)
			12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進
			13 NPO・ボランティア活動の推進
2 安心の環 <sup>わ</sup>	6 住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるまち	高齢者福祉	14 生きがいづくりと介護予防の推進
			15 高齢者の地域生活支援
		障がい福祉	16 障がいのある人への支援
			17 障がいのある人の社会参加の促進
		地域福祉・生活困窮者支援	18 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進(再掲)
	19 生活困窮者の自立支援		
	7 健康で安心して暮らせるまち	保健・衛生	20 地域医療体制と健康危機管理体制の確立
			21 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進
			22 生涯を通じた心身の健康づくり支援
3 育みの環 <sup>わ</sup>	8 子どもの安心・成長・自立を支えるまち	子育て	23 子ども・子育て支援の充実
			24 心と体の健やかな成長への支援
		教育	25 生きる力を育む学校教育の充実
			26 安全で安心な教育環境の整備
	27 青少年の健全な心と体の育成		
	28 高等学校教育の充実		
	9 いきいきと学び楽しみ、活躍できるまち	生涯学習・スポーツ	29 学びが広がる生涯学習の推進
			30 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進
文化・歴史		31 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進	
		32 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進	

施策の大綱	政策(基本目標)	施策	
<b>4</b> 地産の環 <small>わ</small>	<b>10</b> 地域の豊かな資源を活かし、活力ある産業が発展するまち	産 業	33 大地の恵みを活かした農業の振興
			34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興
			35 地場企業の強みを活かした産業の振興
	<b>11</b> にぎわいが創出され、いきいきと働けるまち	観 光	36 観光魅力創造・まごころ観光の推進
			商 業
		雇 用	38 新たな事業の創出と企業誘致
39 いきいきと働ける環境づくり			
<b>5</b> まちの環 <small>わ</small>	<b>12</b> 便利で快適に暮らせるまち	都 市 基 盤	40 地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成
			41 安全で円滑な交通体系の整備
	<b>13</b> 災害に強く、安全に暮らせるまち	防 災 ・ 減 災	42 魅力あふれる都市美・水と緑の整備
			43 安全で安定した水道水の供給
			44 命を守る対策の推進
		45 地域防災力の向上(命をつなぐ対策の推進)(再掲)	
	46 消防・救急・医療体制の強化		
	復 旧 ・ 復 興	47 災害からの迅速な復旧	
48 復旧・復興体制の強化			
<b>6</b> 自立の環 <small>わ</small>	<b>14</b> 多様な交流や、新たな人の流れが生まれ、自立したまち	交 流 ・ 連 携	49 多様な交流・連携の推進
			50 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化(再掲)
			51 NPO・ボランティア活動の推進(再掲)
		移 住 ・ 定 住	52 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進
		行 財 政 運 営	53 市民から信頼される行政改革・財政の健全化
			54 持続可能な公共施設の提供

## 第1章 共生の環

### 第1節 (政策1)

#### 豊かな自然に親しみ、自然と共生するまち

「緑(森林・里山)」や「水(河川・海)」などの豊かな自然環境が将来にわたって保たれ、誰もが自然に親しみ、自然とともに共生しているまちをめざします。



- 施策**
- 1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全
    - 緑の保全/●水辺の保全
  - 2 豊かな自然とのふれあい
    - 環境学習の推進/●生態系の保全
  - 3 地球にやさしい環境汚染の防止
    - 事業場等排出対策/●生活排水対策

### 第2節 (政策2)

#### 地域文化に愛着を持ち、継承されるまち

地域固有の文化に、あらゆる世代が地域の祭りや伝統芸能等の文化に触れ合う機会をつくることで郷土に対する愛着等が生まれ、これらを次の世代に確実に継承されるまちをめざします。



- 施策**
- 4 地域文化の継承と発展
    - 地域文化の保存・継承・発展/●食文化の継承・発信

### 第3節 (政策3)

#### 地域の資源や再生可能エネルギーを活用した地球環境にやさしいまち

市民・事業者・行政が一体となって環境に配慮した活動に取り組み、地域資源を循環させるとともに、市域における温室効果ガスの排出量削減に努め、地球環境にやさしいまちをめざします。



- 施策**
- 5 資源循環型都市の構築
    - ごみ減量と再資源化の推進/
    - ごみ処理に関する啓発活動
  - 6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減
    - ごみの適正処理/●施設管理と体制の維持/
    - 産業廃棄物の適正処理/●不法投棄の防止
  - 7 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進
    - 新エネルギーの導入推進/●低炭素・省エネルギーの推進/●新たな温室効果ガス排出量削減目標への対応

### 第4節 (政策4)

#### 平和と人権が尊重され、男女が共に輝けるまち

平和が保たれ、人権が尊重された人と人との共生社会の実現をめざすとともに、男女が互いに支え合い、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざします。



- 施策**
- 8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり
    - 平和教育・啓発の推進/●人権教育・啓発の推進
  - 9 男女が共に活躍できる社会づくり
    - 男女共同参画の推進

### 第5節 (政策5)

#### 多様な主体が連携し、市民と行政が協働するまち

市民が主体となった創意あふれるまちづくり活動が展開され、誰もが将来にわたり住み続けたいと思える市民と行政の協働のまちをめざします。



- 施策**
- 10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化
    - 地域コミュニティの活動支援/
    - 子どものまちづくり参画
  - 11 地域防災力の向上(命をつなぐ対策の推進)
    - 避難所の整備/●生活必需物資の確保/
    - 地域防災力の向上/●要配慮者対策
  - 12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進
    - 地域福祉の推進
  - 13 NPO・ボランティア活動の推進
    - NPO・ボランティア活動支援

## 第2章 安心の環

### 第1節 (政策6)

#### 住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるまち

住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと生活を送ることは、市民誰もの願いであり、互いに支え合い、地域で安心して暮らせるまちをめざします。



#### 施策

- 14 生きがいがづくりと介護予防の推進
  - 生きがいがづくり・社会参加の促進/●介護予防の推進
- 15 高齢者の地域生活支援
  - 地域での生活支援の充実/●認知症対策の充実/
  - 介護サービスの提供体制の充実
- 16 障がいのある人への支援
  - 相談支援体制の充実/●地域生活支援の充実/
  - 早期療育支援/●教育的支援
- 17 障がいのある人の社会参加の促進
  - 社会参加支援/●バリアフリー推進/●バリアフリー整備
- 18 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進 (再掲)
  - 地域福祉の推進
- 19 生活困窮者の自立支援
  - 生活困窮者の自立支援

### 第2節 (政策7)

#### 健康で安心して暮らせるまち

安心で安定した医療体制の確立や衛生的で良好な生活環境が確保されるとともに、市民がこころと体の健康を保ち、生涯にわたり、健やかな人生を送ることができるまちをめざします。



#### 施策

- 20 地域医療体制と健康危機管理体制の確立
  - 地域医療体制の確保/●医療等安全対策/
  - 健康危機管理体制と感染症対策の強化
- 21 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進
  - 食品の安全性の確保/●生活衛生の向上/
  - 動物愛護・適正管理
- 22 生涯を通じた心身の健康づくり支援
  - 生活習慣病の発症・重症化予防/●歯と口の健康づくり/
  - こころの健康づくり/●たばこ対策/
  - 国民健康保険の健全運営

## 第3章 育みの環

### 第1節 (政策8)

#### 子どもの安心・成長・自立を支えるまち

子どもを安心して生み育てられる環境が整い、地域や社会の温かい見守りの中で子どもたちが健やかに育つとともに、未来を担う子どもたちが、充実した学校生活を通して確かな学力と豊かな人間性、そして創造性を身に付け、より良い社会を創り出す人として育つまちをめざします。

#### 施策

- 23 子ども・子育て支援の充実
  - 妊娠・出産期等の支援/●乳幼児期等の支援/
  - 就学前の教育・保育の充実/●学童期等の支援/
  - 児童虐待予防の推進
- 24 心と体の健やかな成長への支援
  - 食育の推進と食生活支援/
  - 子どもの健やかな成長を見守り支える環境づくり/
  - 子どもたちが将来に夢と希望が持てる環境づくり
- 25 生きる力を育む学校教育の充実
  - 知・徳・体の充実/●保・幼・小連携の充実/●教職員の資質・能力の向上/●いじめ・不登校等の生徒指導上の課題への対応の充実/●特別支援教育の充実
- 26 安全で安心な教育環境の整備
  - 教育環境、学校組織の充実/●施設・設備の整備/
  - 防災教育の充実/●中学校給食の完全実施
- 27 青少年の健全な心と体の育成
  - 青少年の健全育成
- 28 高等学校教育の充実
  - 高校教育の改革/●進路指導の充実/
  - 部活動・生徒会活動・学校行事の推進

### 第2節 (政策9)

#### いきいきと学び楽しみ、活躍できるまち

各世代に応じた多様な学びやスポーツを楽しむ機会に恵まれ、地域で活躍する人材が育つとともに、歴史の重みとロマンを感じさせる高知ならではの都市の風格を大切に守りながら、市民が誇りと愛着を持ちいきいきと活躍できるまちをめざします。



#### 施策

- 29 学びが広がる生涯学習の推進
  - 生涯学習活動の推進
- 30 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進
  - スポーツ活動の推進/●スポーツ指導者の育成/
  - スポーツ施設の充実
- 31 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進
  - 芸術・文化活動の推進/●まんが文化の振興
- 32 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進
  - 歴史文化の保全・継承、市史の編さん/
  - 歴史学習の推進/●文化財の保護

## 第4章 地産の環

### 第1節 (政策10)

#### 地域の豊かな資源を活かし、 活力ある産業が発展するまち

豊かな自然と温暖な気候を活かした農林水産業が営まれ、地域資源を活かした商品開発や地産外商が展開されるとともに、ものづくりの技術力を備えた企業が育つなど競争力ある地場産業の育成を進め、産業に活力があふれるまちをめざします。



- 33 大地の恵みを活かした農業の振興**  
 ●農地の保全/●農業基盤整備/●農業担い手育成/  
 ●販売チャネルの強化・多様化
- 34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興**  
 ●林業基盤整備/●林業担い手育成/●木材利用促進/  
 ●漁業基盤整備/●漁業担い手育成/●魚価形成力の強化
- 35 地場企業の強みを活かした産業の振興**  
 ●操業環境整備/●創業・新事業支援、地産外商の推進/  
 ●産業技能の継承と向上

## 第5章 まちの環

### 第1節 (政策12)

#### 便利で快適に暮らせるまち

都市部に人口規模・構成に見合った効率的な都市基盤の整備や機能集積を行うとともに、都市周辺においては地域の特性や課題に応じた生活環境や交通の利便性の改善を進めるなど「コンパクトシティ」をめざします。



- 40 地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成**  
 ●地域特性を活かした土地利用/●中心市街地整備/  
 ●密集市街地整備/●安全で快適な歩行者空間の確保/  
 ●市営住宅整備/●空き家対策
- 41 安全で円滑な交通体系の整備**  
 ●道路交通網の整備/●道路構造物の適切な維持管理/  
 ●公共交通の活性化/●交通安全運動・自転車交通対策/  
 ●交通渋滞の解消
- 42 魅力あふれる都市美・水と緑の整備**  
 ●景観整備/●都市公園等の整備
- 43 安全で安定した水道水の供給**  
 ●水需要の減少への対応/●水道供給の防災対応強化/  
 ●水道施設の耐震化・更新整備/●簡易水道の統合

### 第2節 (政策11)

#### にぎわいが創出され、いきいきと働けるまち

高知の特性を活かしたさまざまな産業が発展し、活性化することにより、多様な働く場が確保され、生きがいや充実感を持ちながら働けるまちをめざします。



- 36 観光魅力創造・まごころ観光の推進**  
 ●地域資源の魅力創出/●インバウンド観光の推進/  
 ●効果的な情報発信/●受入態勢の充実
- 37 魅力あふれる商業の振興**  
 ●商店街の活性化/●街路市の活性化/  
 ●商業等経営基盤強化/●卸売市場の活性化
- 38 新たな事業の創出と企業誘致**  
 ●事業創出/●企業誘致
- 39 いきいきと働ける環境づくり**  
 ●雇用・就職等の促進/●勤労者福祉の充実/  
 ●ワーク・ライフ・バランス

### 第2節 (政策13)

#### 災害に強く、安全に暮らせるまち

近い将来発生が予測される南海トラフ地震をはじめとした大規模自然災害に対して、人命の保護を第一に考えるとともに、地域・経済社会の被害を最小限に止め、迅速な復旧・復興が可能となる災害に強いまちをめざします。



- 44 命を守る対策の推進**  
 ●建築物の耐震化促進/●橋梁耐震化の推進、防災道路整備/  
 ●防災公園整備/●緊急避難場所の整備/  
 ●地震・津波火災対策/●土砂災害・中山間防災対策/  
 ●雨水排水対策/●有害物質の拡散・流出防止
- 45 地域防災力の向上 (命をつなぐ対策の推進) (再掲)**  
 ●避難所の整備/●生活必需物資の確保/  
 ●地域防災力の向上/●要配慮者対策
- 46 消防・救急・医療体制の強化**  
 ●消防体制の充実強化/●消防施設の整備/  
 ●消防団の充実強化/●関係機関との連携強化/  
 ●災害医療体制の確立
- 47 災害からの迅速な復旧**  
 ●庁舎耐震化・行政機能確保/●情報通信機能の確保/  
 ●受援体制の整備/●災害対応力の向上
- 48 復旧・復興体制の強化**  
 ●ライフラインの復旧/●復旧・復興体制の事前整備

## 第6章 自立の環

### 第1節 (政策14)

#### 多様な交流や、新たな人の流れが生まれ、自立したまち

多様な交流・連携や移住・定住促進の取組により、新しい人の流れが生まれ、にぎわいと活気にあふれているまちをめざすとともに、継続した行財政改革と効率的な行政運営による自立したまちをめざします。



- 49 多様な交流・連携の推進**  
 ●広域行政の推進/●産・学・官・民連携/  
 ●姉妹・友好都市交流
- 50 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化 (再掲)**  
 ●地域コミュニティの活動支援/  
 ●子どものまちづくり参画
- 51 NPO・ボランティア活動の推進 (再掲)**  
 ●NPO・ボランティア活動支援
- 52 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進**  
 ●情報発信/●移住促進のための受入体制の強化/  
 ●定住できる環境づくり
- 53 市民から信頼される行政改革・財政の健全化**  
 ●行政改革/●職員の意識改革・能力向上/  
 ●財政運営の健全化/●広聴・広報
- 54 持続可能な公共施設の提供**  
 ●公共施設維持管理

施策

成果指標

① 共生の環

政 策 (基本目標)	施 策	成 果 指 標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
1 豊かな自然に親しみ、自然と共生するまち	1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全	間伐実施面積	市内内で実施する年間の間伐面積	74ha (平成27年度)	80ha	90ha
		里山保全地区の指定	里山保全地区として指定した数	3か所 (平成27年度)	3か所	4か所
		天然アユの遡上数	鏡川流域の環境を測る指標の一つ	18.8万尾 (平成26～28年度の平均値)	50.0万尾 (直近3か年の平均値)	50.0万尾 (直近3か年の平均値)
	2 豊かな自然とのふれあい	自然を大切にすることへの心がけていることがある市民の割合	市民意識調査による市民の割合	78.5% (平成28年度)	78.9%	79.3%
		3 地球にやさしい環境汚染の防止	大気質の環境基準達成率	前年度の大気環境測定局における測定項目の環境基準達成率(広域的要因等の測定項目を除く) ○100%を維持する指標	100% (平成27年度)	100%
	河川水質の環境基準達成率		前年度の河川の環境基準点の環境基準達成率(BOD) ○100%を維持する指標	100% (平成27年度)	100%	100%
	海域水質の環境基準達成率		前年度の海域の環境基準点の環境基準達成率(COD)	40% (平成27年度)	60%	80%
汚水処理人口普及率	下水道、合併処理浄化槽等の合計普及率		85.3% (平成27年度)	87.1%	88.8%	
2 地域文化に愛着を持ち、継承されるまち	4 地域文化の継承と発展	地域の伝統行事や祭り、食文化などに愛着を持っている市民の割合	市民意識調査による市民の割合	68.2% (平成28年度)	68.6%	69.0%
		地域文化や民俗文化等の保存・継承・活動を行っている団体の数	地域文化としての民俗文化財等を保存・継承していくために支援している団体の数 ○団体数の維持	13団体 (平成27年度)	13団体	13団体
		食に関する体験学習等の実施率	栽培体験、収穫体験、調理実習等を実施した学校の割合(学校数ベース)	小学校：81.0% 中学校：26.3% (平成27年度)	小学校：83.0% 中学校：40.0%	小学校：85.0% 中学校：53.0%
3 地域の資源や再生可能エネルギーを活用した地球環境にやさしいまち	5 資源循環型都市の構築	市民一人1日当たりのごみ排出量	左記と同じ(資源となるものを除く)	925g (平成26年度)	879g	870g
		ごみのリサイクル	ごみ排出量のうち再資源化されたごみの割合	18.7% (平成26年度)	21.5%	21.8%
	6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減	不法投棄発生件数	市内で発生した不法投棄件数	319件 (平成27年度)	301件	298件
		7 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進	家庭における一人当たりの年間電力消費量	温室効果ガス排出要因のうち、最も高い割合を占める電力の使用量	2,326kWh/人 (平成25年度)	2,267kWh/人 (平成25年度比2.5%減)(注1)
再生可能エネルギーによる発電量	太陽光発電やバイオマス、中小水力等再生可能エネルギーの導入量		415.4GWh (平成27年度)	(注2)	(注2)	
4 平和と人権が尊重され、男女が共に輝けるまち	8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり	平和や人権尊重が保たれていると感じている市民の割合	市民意識調査による市民の割合	50.7% (平成28年度)	53.0%	55.0%
		性別に関係なく、能力を発揮できていると感じている市民の割合	市民意識調査による市民の割合	31.5% (平成28年度)	33.0%	35.0%
	9 男女が共に活躍できる社会づくり	30～34歳の女性が労働している割合(労働力率)	国勢調査による30～34歳の女性総数(労働力状態が「不詳」の人数を除く)に占める労働力人口(就業者+完全失業者)	78.8% (平成22年度)	—	80.0%

政策 (基本目標)	施策	成果指標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
5 多様な主体が連携し、市民と行政が協働するまち	10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化	地域で何らかの近所づきあいができていると感じている市民の割合	市民意識調査による市民の割合	93.9% (平成27年度)	95%	95%
		町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合	市民意識調査による市民の割合	50.8% (平成27年度)	55%	60%
		地域内連携協議会の認定地域数	持続可能な地域コミュニティの形成に向けた、概ね小学校区をエリアとした緩やかな連携組織の認定地域数	12地域 (平成27年度)	25地域	28地域
		こうちこどもファンドの助成を受け、助成後も継続している事業数	こうちこどもファンドの助成を受け、助成後も継続している事業数	12事業 (平成27年度)	20事業	25事業
	11 地域防災力の向上(命をつなぐ対策の推進)	想定避難者数に対する避難所収容人数の割合	想定避難者数に対する指定避難所の収容人数充足率	41.4% (平成27年度)	47.5%	50.0%
		備蓄計画の達成率	備蓄計画に基づいた食糧等備蓄の達成率	20.0% (平成27年度)	80.0%	100.0%
		活動している自主防災組織数	避難訓練、講習会等の事業実績の報告があった自主防災組織数	369団体 (平成27年度)	420団体	480団体
	12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進	地域住民が助け合っていると思う市民の割合	地域福祉に関するアンケート調査による市民の割合	40.5% (平成24年度)	50%	55% (注3)
	13 NPO・ボランティア活動の推進	町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合(再掲)	市民意識調査による市民の割合	50.8% (平成27年度)	55%	60%
		市民活動サポートセンターの利用団体数	NPO活動やボランティア活動等によるセンターの利用団体数	489団体 (平成27年度)	550団体	590団体

(注1) 今後の国のエネルギー施策や国際情勢に鑑みて、「高知市新エネルギービジョン」の見直しの中で新たな目標値を定めた場合は変更します。  
 (注2) 再生可能エネルギーによる発電量が2015(平成27)年度実績で415.4GWhとなり、「高知市新エネルギービジョン」における中間及び最終目標値を超えていることから、今後の同ビジョンの見直しの中で新たな目標値を定めるものとします。  
 (注3) 最終目標値(2020(平成32)年度)は、市民意識調査により数値の確認を行うものとします。



守るンジャー清掃

## ② 安心の環

政策 (基本目標)	施策	成果指標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
6 住み慣れた地域 で、自分らしく 暮らせるまち	14 生きがいづくりと 介護予防の推進	65歳以上で要介護認定 を受けていない高齢者の 割合	介護の必要性がなく、地域で元 気に暮らしている65歳以上の人の 割合	79.7% (平成28年2月 末現在)	80.7%	82.0%
	15 高齢者の地域生活 支援	健康寿命（65歳の平均 自立期間）	65歳の人が必要介護2の状態に なるまでの期間	男性：17.3年 女性：20.3年 (平成25年度)	男性：18.3年 女性：21.1年	男性：18.8年 女性：21.5年
	16 障がいのある人へ の支援	委託相談支援事業所（障 害者相談センター）にお ける相談件数	障害者総合支援法に基づく障害 者相談支援事業のうち、高知市 が委託している相談支援事業所 での相談件数	20,815件 (平成27年度)	21,000件	21,500件
		サポートファイル所持率	就学相談時にサポートファイル を所持し、活用する人の割合	50.7% (平成27年度)	65.0%	70.0%
	17 障がいのある人の 社会参加の促進	施設から地域生活への移 行者数	障害者総合支援法に基づく障害 者支援施設から地域生活への移 行者数	12人 (平成26年度)	14人	15人
		日中活動系（通所系） サービスの実利用者数	障害者総合支援法に基づく日中 活動系（通所系）サービスの実 利用者数	1,339人 (平成28年3月末)	1,440人 (平成31年3月末)	1,510人 (平成33年3月末)
	18 地域住民の支え合 いによる地域福祉 の推進（再掲）	地域住民が助け合ってい ると思う市民の割合 （再掲）	地域福祉に関するアンケート調 査による市民の割合	40.5% (平成24年度)	50%	55%（注4）
19 生活困窮者の自立 支援	自立支援プランの目標達 成件数	自立支援プランに基づくサービ スを受けて目標が達成された件 数	45件 (平成27年度)	49件	53件	
7 健康で安心して 暮らせるまち	20 地域医療体制と健 康危機管理体制の 確立	結核罹患率	1年間に新たに発生する高知市 内の結核患者の人口10万人対 の数値	12.4（人） (平成26年)	11.0（人） (平成30年)	10.0（人） (平成32年)
	21 衛生的な生活環境 づくりと動物愛護 の推進	食品取去検査における違 反率	食品営業施設から取去した食品 検体の基準違反の率	7.5% (平成27年度)	7.0%	5.0%
		食中毒の患者数	高知市内で発生した食中毒の患 者数	68人 (平成27年度)	60人	50人
	22 生涯を通じた心身 の健康づくり支援	小動物管理センターにお ける動物の保護引き取り 頭数	保護または引き取った犬・猫 （負傷含む）の数	犬：101頭 猫：561匹 (平成27年度)	犬：98頭 猫：545匹	犬：95頭 猫：530匹
		40歳から64歳までの男 性、女性それぞれの標準 化死亡率	年齢構成を補正し全国と同じな ら100となるように計算した死 亡率	男性：98.4 女性：106.7 (平成26年度)	男性：96.1 女性：102.3	男性：95.0 女性：100.0
40歳から64歳までの脳 血管疾患発症者数	脳卒中センターや脳卒中支援病院 で急性期の治療を受けた患者数	256人 (平成24年度)	214人	200人		
	歯肉に所見のある小・中 学生の割合	健康診断において歯肉炎と診断 された小・中学生の割合	小学生：26.1% （5・6年） 中学生：33.8% (平成27年度)	小学生：19.0% （5・6年） 中学生：31.0%	（注5）	

（注4）最終目標値（2020(平成32)年度）は、市民意識調査により数値の確認を行うものとします。  
 （注5）最終目標値（2020(平成32)年度）は、第3次高知市食育推進計画において定めることとします。



高齢者教室

3 育みの環

政策 (基本目標)	施策	成果指標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
8 子どもの安心・ 成長・自立を支 えるまち	23 子ども・子育て支 援の充実	理想的な子どもの数と現 實的に持ちたいと考えて いる子どもの数との比率	市民意識調査による結果	80.6% (注6) (平成26年度)	83.0%	85.0%
		待機児童数	保育の必要性があり入所申請し たが、入所できていない年度当 初の児童数	43人 (平成27年度)	0人	0人
	24 心と体の健やかな 成長への支援	朝食を毎日食べている児 童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果に おいて、児童生徒質問紙の「朝 食を毎日食べている」の質問に 肯定的な回答をした割合	小6：94.1% 中3：88.9% (平成27年度)	小6：95.0% 中3：90.0%	(注7)
		高知チャレンジ塾の登録 者数	高知チャレンジ塾への参加申込 をした生徒の合計数	391人 (平成27年度)	420人	430人
		学校給食における地産地 消費率	学校給食における県内産食材の 使用割合(重量ベース)	61.0% (平成27年度)	68.0%	(注7)
	25 生きる力を育む学 校教育の充実	小1プロブレム発生率	第1学年の学級において、入学 後の落ち着かない状態が解消さ れず、授業が成立しない状態が 数か月にわたって継続する状況	7.0% (平成26年度)	5.0%	2.0%
		国語、算数・数学の学力 の全国平均値との比較	全国学力・学習状況調査結果に おいて、全国平均正答率を100 としたときの比較	小6国語：104 小6算数：101 中3国語：92 中3数学：84 (平成27年度)	小6国語：105 小6算数：105 中3国語：100 中3数学：100	(注8)
		自己肯定感の高い児童生 徒の割合	全国学力・学習状況調査結果に おいて、児童生徒質問紙の「自 分にはよいところがあると思 いますか」の質問に肯定的な回答 をした割合	小6：77.2% 中3：69.0% (平成27年度)	小6：80.0% 中3：75.0%	(注8)
		夢や目標を持っている児 童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果に おいて、児童生徒質問紙の「将 来の夢や目標を持っています か」の質問に肯定的な回答をし た割合	小6：85.1% 中3：71.6% (平成27年度)	小6：90.0% 中3：80.0%	(注8)
		不登校児童生徒の割合 (出現率)	児童生徒の問題行動等生徒指導 上の諸注意に関する調査におけ る不登校児童生徒の割合	小学校：0.46% 中学校：4.19% (平成26年度)	小学校：0.40% 中学校：4.00%	小学校：0.39% 中学校：3.45%
		26 安全で安心な教育 環境の整備	地域と協働して教育活動 を行っている学校数	学校支援地域本部等の設置校数	30校 (平成28年度)	35校
	小・中学校施設の耐震化率		市立小・中・義務教育学校の非 木造校舎・体育館等、全210棟 に対して耐震性能が確保されて いる棟の割合	92.9% (平成27年度)	100%	100%
	防災学習の推進		市立小・中・義務教育学校で年 間5時間以上の防災授業の実施 ○100%を維持する指標	100% (平成27年度)	100%	100%
	多様な避難訓練の実施		さまざまな状況を想定した避難 訓練の反復実施(年間3回以上) ○100%を維持する指標	100% (平成27年度)	100%	100%
	中学校における給食実施率		市立中学校における完全給食実 施率(学校数ベース)	31.6% (平成27年度)	100%	100%
	27 青少年の健全な心 と体の育成	青年センター登録団体数	青年センターを利用する青少年 及び青年団体の登録総数	56件 (平成27年度)	60件	65件
		青少協ブロック共同事業 参加者数	青少年育成協議会が実施する共 同事業に参加した児童生徒等の 数	1,180人 (平成27年度)	1,200人	1,250人
	28 高等学校教育の充実	進路決定率	高知商業高等学校の高校3年生 の進路決定率 ○100%を維持する指標	100% (平成27年度)	100%	100%
		体験入学者数の割合	県内の中学3年生総数に対する 高知商業高等学校に体験入学し た生徒数の割合	10.35% (平成27年度)	11.16%	11.25%

(注6) 「理想的な子どもの数と現實的に持ちたいと考えている子どもの数との比率」の直近値については、高知県が2014(平成26)年度に実施した県民世論調査結果(うち高知市分)での「現實的に持ちたいと考えている子どもの数の平均1.99人と理想的な子どもの数の平均2.47人」の比率。

(注7) 最終目標値(2020(平成32)年度)は、第3次高知市食育推進計画において定めることとします。

(注8) 最終目標値については、2018(平成30)年度の全国学力・学習状況調査結果を基に、再度検討して目標値を設定します。

政 策 (基本目標)	施 策	成 果 指 標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
9 いきいきと学び 楽しみ、活躍で きるまち	29 学びが広がる生涯 学習の推進	生涯学習の中で身に付け た知識や技術を活かそう としている人の割合	市内の公民館で実施する生涯学 習事業への参加者のうち、学習 成果を活かそうとしている人の 割合	95.4% (平成28年度)	96.5%	97.5%
	30 ライフステージに 応じた生涯スポー ツの推進	スポーツを楽しむことが できていると思う市民の 割合	市民意識調査による市民の割合	43.1% (平成28年度)	50.0%	65.0%
		スポーツ団体登録数	スポーツ少年団と学校開放利用 団体の登録数	687団体 (平成27年度)	693団体	697団体
		スポーツ推進指導員の数	社会体育の普及充実をめざす指 導者数	403人 (平成27年度)	433人	453人
	31 多様で魅力的な芸 術・文化活動の推 進	芸術文化を鑑賞または芸 術・文化活動を行う市民 の割合	市民意識調査による市民の割合	53.6% (平成28年度)	55.0%	58.0%
		高知市展への出品数	アンデパンダン形式(注9)の 美術展(10部門)への出品数	726点 (平成27年度)	770点	800点
	32 先人から受け継い だ歴史文化・文化 財保護の推進	指定文化財と登録文化財 の数	次代に継承させるため、保護し ていく文化財の数	指定：170 登録：13 (平成28年度)	指定：170 登録：14	指定：172 登録：14
		文化財施設や史跡の利用 者と入館者の数(注10)	高知市が管理・公開している文 化財施設等を見学、または利用 した方の数	利用者数：1,499人 入館者数：34,737人 (平成26年度)	利用者数：1,700人 入館者数：35,000人	利用者数：1,800人 入館者数：36,000人
		自由民権記念館の展示観 覧者の数	自由民権運動史を中心とした土 佐の近代史に関する展示会を観 覧した方の数	常設展：7,430人 企画展：6,709人 (平成26年度)	常設展：8,700人 企画展：7,000人	常設展：10,000人 企画展：8,000人

(注9) 無審査・無賞形式

(注10) 利用者は「寺田寅彦記念館」「大川筋武家屋敷資料館」の施設利用者数、入館者は「旧山内家下屋敷長屋」ほか10施設の施設入館者数



田植え体験

## ④ 地産の環

政策 (基本目標)	施策	成果指標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
10 地域の豊かな資源を活かし、活力ある産業が発展するまち	33 大地の恵みを活かした農業の振興	農産物の販売額	J A 高知市、J A 高知春野における農産物の販売額	8,902百万円 (平成27年度)	8,960百万円	9,010百万円
		直販所販売額	高知市に所在地を置く直販所の販売額	1,790百万円 (平成26年度)	1,800百万円	1,802百万円
		認定農業者数	農業経営基盤強化促進法に基づいて、農業経営改善計画を作成し、市から認定を受けた農業者の数	275人 (平成27年度)	284人	290人
	34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興	新規林業就業者数	高知市森林組合新規雇用作業員人数	1人 (平成28年度)	3人	5人
		搬出間伐の材積	市域内で実施する搬出間伐の材積(m <sup>3</sup> )	2,870m <sup>3</sup> (平成27年度)	3,250m <sup>3</sup>	3,800m <sup>3</sup>
		漁業就業者数	満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した者(20年度161人、15年度381人)	110人 (平成25年度)	65人(注11)	54人(注11)
	35 地場企業の強みを活かした産業の振興	創業支援等による新規創業数	ものづくり創生支援事業による新規創業数	2件 (平成27年度)	20件(累計)	25件(累計)
		見本市における商談成立件数	国際P B・O E M開発展において出展企業が商談を成立させた数	21件/回 (平成26年度)	23件/回	25件/回
	11 にぎわいが創出され、いきいきと働けるまち	36 観光魅力創造・まごころ観光の推進	年間観光入込客数(海外からの観光客を含む)	年間の県外観光客の高知市への入込数	301万人 (平成26年度)	317万人
県外観光客の消費額			年間の県外観光客の高知市での消費額	806億円 (平成26年度)	900億円	973億円
外国人観光客延べ宿泊数			年間の外国人観光客の高知市での延べ宿泊数	22,000人泊 (平成26年度)	30,000人泊	34,000人泊
37 魅力あふれる商業の振興		商店街の空き店舗率	高知市内の商店街の空き店舗率	19.7% (平成27年度)	19.0%	18.6%
38 新たな事業の創出と企業誘致		地場企業の新規事業数	ものづくり創生支援事業による新事業数	5件 (平成27年度)	12件(累計)	15件(累計)
		企業誘致に伴う新規雇用者数	企業誘致、創業支援等による新規雇用者数	115人 (平成27年度)	200人(累計)	250人(累計)
39 いきいきと働ける環境づくり		就職者数	新規就職者数(合同面接会を含む雇用促進事業)	100人 (平成27年度)	100人	100人

(注11) 漁業就業者数の中間目標値及び最終目標値については、2003(平成15)年度から2013(平成25)年度までの就業者数の平均減少割合から試算すると、2018(平成30)年度の見込み人数が60人、2020(平成32)年度の見込み人数が49人となるものを5人多く設定しています。



日曜市

5 まちの環

政策 (基本目標)	施策	成果指標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
12 便利で快適に暮らせるまち	40 地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成	中心市街地の歩行者通行量	「高知市中心市街地活性化基本計画」による中心部の商店街の歩行者通行量	95,403人 (平成27年度)	(注12)	(注12)
	41 安全で円滑な交通体系の整備	路面電車・路線バスの利用者減少率(抑制)	路面電車・路線バスの利用者の減少率を抑制していくもの	▲2.7% (平成25年度)	▲2.2%	▲2.0%
		交通事故発生件数	高知市内における交通事故発生件数(1月から12月まで)	1,390件 (平成27年度)	1,245件	1,100件
	42 魅力あふれる都市美・水と緑の整備	緑視率	人の視野に占める樹木などの「緑の面積」の比率 ○「2016高知市緑の基本計画」に定める目標水準(都市計画区域内)	22.9% (平成27年度)	—	24.3%
		緑被率	公園緑地、公共施設、公共住宅等と市街化区域の外側500mの範囲のうち、緑で覆われた面積と都市計画区域面積の割合 ○「2016高知市緑の基本計画」に定める目標水準(都市計画区域内)	2454.5ha 14.6% (平成27年度)	—	2458.2ha 14.6%
		市民一人当たりの公園面積	都市公園法に基づいて設置された公園の市民一人当たりの面積 ○「2016高知市緑の基本計画」に定める目標水準(都市計画区域内)	8.0㎡ (平成27年度)	—	8.2㎡
		緑地面積	都市公園、公共施設の緑地、民間施設の緑地、保安林、河川区域、保存樹木、工場植栽などの合計面積 ○「2016高知市緑の基本計画」に定める目標水準(都市計画区域内)	11,467.2ha (平成27年度)	—	11,473.2ha
	43 安全で安定した水道水の供給	基幹管路の耐震適合率	耐震適合性のある管の延長/基幹管路の総延長	33.2% (平成27年度)	36.8%	45.7%
基幹施設の耐震化率		耐震化能力/全施設能力	14.8% (平成27年度)	58.3%	71.7%	
13 災害に強く、安全に暮らせるまち	44 命を守る対策の推進	市内建物(住宅)の耐震化率	「高知市耐震改修促進計画」に基づく住宅の耐震化率	78.6% (平成27年度)	82%	95%以上
		緊急輸送道路における橋梁耐震化率	緊急輸送道路における橋梁耐震化率	63% (平成27年度)	89%	100%
		資機材が配備された津波避難ビル数	避難者用の簡易トイレ等資機材が配備された津波避難ビル数	140棟 (平成27年度)	206棟	250棟
	45 地域防災力の向上(命をつなぐ対策の推進)(再掲)	想定避難者数に対する避難所収容人数の割合(再掲)	想定避難者数に対する指定避難所の収容人数充足率	41.4% (平成27年度)	47.5%	50.0%
		備蓄計画の達成率(再掲)	備蓄計画に基づいた食糧等備蓄の達成率	20.0% (平成27年度)	80.0%	100.0%
		活動している自主防災組織数(再掲)	避難訓練、講習会等の事業実績の報告があった自主防災組織数	369団体 (平成27年度)	420団体	480団体
	46 消防・救急・医療体制の強化	消防署再編による火災現場到着時間の短縮	出勤から火災現場までの消防車両の到着時間	8分44秒(注13) (平成27年)	8分40秒 (平成30年)	8分20秒 (平成32年)
		救急救命士の搭乗率	救急出動における救急救命士の救急車搭乗率	94% (平成27年)	96%	100%
		消防団員の充足率	消防団員の条例定数に対する実員数の割合	92% (平成28年)	97%	100%
	47 災害からの迅速な復旧	防災行政無線のデジタル化整備率	防災行政無線をアナログ式からデジタル式に整備した割合	20% (平成27年度)	80%	100%
		情報システム災害対策率	災害対策率(災害対策済みの情報システム数/災害対策済み及び今後災害対策を行う情報システム数)	50% (平成27年度)	100%	100%
	48 復旧・復興体制の強化	耐震性非常用貯水槽の整備率	累計の有効容量/全体の有効容量	86.1% (平成27年度)	96.5%	100%
基幹管路の耐震適合率(再掲)		耐震適合性のある管の延長/基幹管路の総延長	33.2% (平成27年度)	36.8%	45.7%	
基幹施設の耐震化率(再掲)		耐震化能力/全施設能力	14.8% (平成27年度)	58.3%	71.7%	
市内中小企業の事業継続計画の策定率		従業員数20人以上50人未満の事業所の事業継続計画策定率(BCP策定済み事業所数/BCP策定推進プロジェクトチーム会員団体登録事業所のうちアンケート回答事業所数)	20% (平成27年度)	40%	60%	

(注12) 「高知市中心市街地活性化基本計画」(2018(平成30)年度に策定予定)で目標値を設定する予定をしています。

(注13) 2015(平成27)年1月~12月の全火災99件のうち、事後聞知を除く84件の実績

## 6 自立の環

政策 (基本目標)	施策	成果指標				
		成果指標名	指標の説明	直近値	中間目標値 (平成30年度)	最終目標値 (平成32年度)
14 多様な交流や、 新たな人の流れ が生まれ、自立 したまち	49 多様な交流・連携 の推進	(仮) 連携中枢都市圏ビジョンで設定する成果指標の達成率	(仮) 連携中枢都市圏ビジョンで設定する成果指標の達成率の平均値	—	25%	75%
	50 地域の絆を強める 地域コミュニティ の活性化 (再掲)	地域で何らかの近所づきあいができていると感じている市民の割合 (再掲)	市民意識調査による市民の割合	93.9% (平成27年度)	95%	95%
		町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合 (再掲)	市民意識調査による市民の割合	50.8% (平成27年度)	55%	60%
		地域内連携協議会の認定地域数 (再掲)	持続可能な地域コミュニティの形成に向けた、概ね小学校区をエリアとした緩やかな連携組織の認定地域数	12地域 (平成27年度)	25地域	28地域
		こうちこどもファンドの助成を受け、助成後も継続している事業数(再掲)	こうちこどもファンドの助成を受け、助成後も継続している事業数	12事業 (平成27年度)	20事業	25事業
	51 NPO・ボランティア 活動の推進 (再 掲)	町内や地域で行われる活動に参加する市民の割合 (再掲)	市民意識調査による市民の割合	50.8% (平成27年度)	55%	60%
		市民活動サポートセンターの利用団体数(再掲)	NPO活動やボランティア活動等によるセンターの利用団体数	489団体 (平成27年度)	550団体	590団体
	52 新しい人の流れを 生み出す移住・定 住の促進	県外からの移住組数	県・市の移住担当窓口で把握する県外からの移住組数	128組 (平成27年度)	185組	200組
		15歳から24歳までの県外への転出超過数の抑制	住民基本台帳上で把握できる15歳から24歳までの県外に対する転出入数	762人 (平成25年)	610人 (平成30年)	500人 (平成32年)
	53 市民から信頼され る行政改革・財政 の健全化	行政改革実施計画の達成率	高知市行政改革実施計画に記載されている年度指標の達成率	78.3% (平成27年度)	100%	100%
実質公債費比率		借金返済額の大きさを、市税や普通交付税などの収入規模に対する割合で表した比率	15.5% (平成26年度)	18%未満	18%未満	
54 持続可能な公共施 設の提供	公共施設の延床面積の削減	「高知市公共施設マネジメント基本計画」に記載された指標	0㎡ (平成27年度)	(注14)	(注14)	

(注14) 目標値については、「高知市公共施設マネジメント基本計画」に記載された40年間の公共施設の延床面積削減率32%を目標として、2017(平成29)年度に策定予定の再配置計画において指標を定めるものとします。



森林ボランティア祭

序論	総合計画策定の趣旨 総合計画の構成 高知市の概要 高知市を取り巻く状況			
基本構想 20年間 (2011～2030年度)	まちづくりの理念	自然と人の共生 人と人の共生 自然と人とまちの共生	将来の都市像 <b>森・里・海と人の環</b> <b>自由と創造の共生都市 高知</b>	
	本論	<b>共生の環</b> 自然と人とまちのそれぞれが調和し共生する地域社会を創造していくために、自然を理解し保全するとともに、人と人とが平和で互いに尊重しあい協力しあう、「共生の環」を創造します。	<b>安心の環</b> 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会を構築するために、地域社会全体で人と人とが互いに支え合う「安心の環」を充実します。	<b>育みの環</b> 次代を担う子どもたちが健やかに育ち、すべての人々が生涯を通じていきいきと学び楽しみながら向上することができるように、子育てへの支援や教育を充実し、文化を振興する「育みの環」を展開します。
基本計画 10年間	各論	<b>政策・施策</b> 政策01 自然の理解と共生の環境づくり 政策02 自然豊かなまちづくり 政策03 環境汚染の防止 政策04 共生文化の継承と創造 政策05 減災対策の強化 政策06 環境負荷の少ない循環型社会の形成 政策07 地球温暖化防止への貢献 政策08 平和を守り人権を尊重する社会づくり 政策09 市民協働によるまちづくり	政策10 いきいき安心の高齢社会づくり 政策11 障害のある人が安心して暮らせる環境づくり 政策12 安全安心の生活環境づくり 政策13 安心して生活できる社会保障の充実	政策14 子どもを生み育てやすい環境づくり 政策15 未来に翔る土佐っ子の育成 政策16 いきいき学び楽しむ生涯学習・スポーツの環境づくり 政策17 多様な文化を身近に親しむ環境づくり
	総論	<b>総合戦略「環境維新・高知市」</b> 総合戦略…基本構想で定めたそれぞれの「施策の大綱」に基づく「分野別施策」に加えて、分野の垣根を越えて横の連携を図りながら、戦略的な視点を持って優先的・重点的に進める横断的施策 ※これまで高知市では、「環境維新・高知市」を旗印として、温室効果ガスの削減をめざした積極的な環境施策を推進してきました。今後は、自然的環境の視点だけでなく、市民との協働や人づくりなどの社会的環境の視点も加え、市民の暮らしを支え高知市全体の活性化につながる戦略として幅広く捉え直し、新たに「共生都市の実現に向けて6つの施策の大綱を横断的に貫く、高知らしさを活かし地域の活力を高める総合戦略」として位置付けることとします。		

将来人口

- ・総人口の想定(2005年 → 2030年)  
348,990人 → 約30万人
- ・年齢区分別の人口
  - 年少人口(0~14歳) : 約5万人 → 約3万人
  - 生産年齢人口(15~64歳) : 約23万人 → 約17万人
  - 老年人口(65歳以上) : 約7万人 → 約10万人

土地利用

- ・中山間地域、田園地域及び都市部が持つ多様な特性を活かし、それぞれの地域の活力の向上をめざした土地利用を図り、バランスの取れた発展をめざします。
- ・公共投資を効果的・効率的に行う集約型の都市構造とし、低炭素社会の実現をめざすとともに、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めます。

地産の環

地域の産業の特色や機能、優れた地域の資源を最大限に活かしながら、地方中核都市として広域の需要を担い、人や物が活発に交流する活力ある産業活動を実現するために、県域全体の発展に貢献する「地産の環」を構築します。

まちの環

中山間地域、田園地域、都市部それぞれの地域がその特性を活かしながら発展し、各地域で人々が安心して心豊かに生活できるように、自然と人とまちとが調和する、地方中核都市ならではの安全で快適な都市空間を創出する「まちの環」を形成します。

自立の環

地域が将来にわたって持続的に発展できるように、県域における連携・交流をリードするとともに、健全な行財政運営の下で市民ニーズに的確に対応した独自の自治を進める「自立の環」を確立します。

政策18

山間の恵みを活かす  
林業の振興

政策19

大地の恵みを活かす  
農業の振興

政策20

海川の恵みを活かす  
漁業の振興

政策21

獨創性あふれる  
ものづくりの振興

政策22

魅力あふれる商業の振興

政策23

あったか土佐の  
おもてなし観光の充実

政策24

いきいきと働ける社会づくり

政策25

美しく快適なまちの形成

政策26

にぎわう市街地の形成

政策27

便利で快適な交通網の整備

政策28

安全安心の都市空間整備

政策29

さらなる広域連携・  
交流の推進

政策30

持続可能で自立した  
行財政の基盤づくり

政策31

住民による自治の環境づくり

高知らしさを活かし地域の活力を高める「維新8大エンジン」

「総合戦略」では優先的・重点的に取り組む必要がある8つの方策を設け、市民と行政が力を合わせて新たなまちづくりを力強くけん引

- 1 高知の自然条件を活かした低炭素都市・循環型都市を創る
- 2 高知の強みとなる地域の資源を軸に据えた産業を興す
- 3 自然災害に備え市民とまちの安全を高める
- 4 健やかでいきいきとした市民生活を支え守る
- 5 知・徳・体の調和のとれた豊かな精神を受け継ぐ人材を育てる
- 6 土佐の風土に根ざした歴史を受け継ぎ文化を発展させる
- 7 地方分権に対応した高知型の市民協働と自主自立のまちを築く
- 8 県都・中核市として広域圏での定住と交流の機能を強める



森・里・海と人の環<sup>わ</sup>  
自由と創造の共生都市  
高知

## 2011高知市総合計画 (2016基本計画改訂版) **概要版**

2017(平成29)年 3月発行

発行 高知市  
総務部 総合政策課  
高知市本町5丁目1-45  
Tel.088-822-8111(代表)

高知市ホームページ  
<http://www.city.kochi.kochi.jp/>